整な總動は、一九三五年夏を期した。

本政策に基くものである、演習上の防備を確保する米海軍の根地近接㎞領さ領海さか連絡も洋地近接㎞領さ領海さか連絡も洋地近接㎞領土の

米國海軍長官發表

演習

《北平特電二十日發》前京より

製區問題は早急に解決に関するに対け

反撃し得るの

【東京二十日餐園通』定/映政粉官 を翻试十九日正午宿|根で駅に開かれたが、席上過短の閣職で決定し た在滿候構成業案大線につき適田 た在滿候構成業案大線につき適田 た在滿候構成業案大線につき適田 たで、席上過短の閣職で決定し につき個々論議されたが、金瀬法

ころ之に要する機算を計上してころ之に要する機算を計上して際へ送附され資族院の複系も大院へ送附され資族院の複系も大院へ送附され資族院の複系も大院へ送附され資務院の複系も大院へ送附されの計画のより資族の場合のが安富であるさきへてするのが安富であるさきへて

り、且つ軍雷局の急速質施の主張

運動方法、即ちば 総名の辞表が認

比較的性権の容易なるものから部

動の鐵案を提げ

二 未 鈴 人行豆 治代喜本橋 人啉與 孫武 村本 人嗣印 地番一冊町園公東市進大 让報日洲滿 社會式除所行以

奥地十箇

所に病院

H

ざさ

赤字覺悟

で施療ご實費診療

鐵、帝政記念に

來月下旬豫備會商開始 大衆的衛生診療施設を目標さし病し

二科が至三科の

三ケ所

である、來年度

に着手して居り

本代表けふ鹿島立

と 清洲電製公司の監督に願しては近 は日流極関において脱電なる監督地位を勝くる て組織運用されて脱ばなる監督地位を勝くる て組織運用されて脱ばないて販会を以て事 委良会において監督が表するが、右委良

電業公司監督規定

「おい」

たのだ。お前な優して、惣兵衛が 続はお前にボーツさなつてもまつ になった時一目見て以来、 がち物になった時一目見て以来、

その前に突ツ立つて、見下すや

▲五十崎隆三氏〈前大連市會議員〉

かかるの目は、目の前にゐる猛が飛び掛つて来たら引ッ外をう

お子様のために

舟至由良猫·秋日偶成 九 月 十 日

田酸

解 く ら ペ

ラの

₇ 1

ラ草鼠屋飲

育 特 草

兩國の勅令を公布

かったる

「強情張るのも

加減にしな

飛びするつもりだつた、こころがして、お前を纏つて、満洲へ高の間に、お前を纏つて、満洲へ高い間に、お前を纏つて、満洲へ高いの間に、お前を纏つれ、満洲へ高い。

滿電兩氏外遊

▲天勝一行四十二名 同上 ●以下一行十七名 同上來連 ●以下一行十七名 同上來連

即いつる。明らか 若しも男であったなら かり、青い灯

響小 小漿 鬱市 小響 林 林山 山 戶 千 代 代 一 正糠 代 境子 子鄉 夫山 子變

曲威風堂々軍樂監斯野歌重爾兵第四聯隊歌陸軍戶山學校

日出帆

國經由ロンドンへ向つたが、一行は大西洋航路ペレン数へ向び、次いて午後三時横濱解纜の日枝丸に乗船米変戦の機本動治書部軍、光延東洋少佐、代表部附罷田書記官等を從委戦の機本動治書記軍、光延東洋少佐、代表部附罷田書記官等を從

-原則を提示し整々を指導修歴度では最米國と會談を開始、劈頭より

在留外人徵稅 延期申出

府の最終態度決定すべき時期到

政局の態度が斯く

以上會談の成否

は再開後

づ英國と次窓で龍に松平上

窓で蔵に松平大使と充分打合せ後二十五」ガリア號にて十月十六日英國サザンフトン餐、同日ロンド

十五日頃先

は既に

い決す

國民の批判を待つ

何處でも日本語で押し通す

けム鹿島立つ

山本少將語る

てからの責任は全部私がも知つさる譯だから、向ふにの事情は最後まで私が一番

た二本の揺のない左てゐる、傾の日本梅

・ 本語間、構選、神戸、接続の衛在 ・ 本語間、構選、神戸、接続の衛在 ・ 本語の衛在 ・ 本語の ・ 本語の

電を調査研究する事が主題で観ら 国観察に日前経済では、 の 具続的事

渡支の米大使

きのム東京發

滿河經濟・経際に便宜供與な依頼には容認・避いさいひ、又英大使は

は容認ら離いさいハトでには数数延期されたが、東光水管は微数延期 北支の對日感情

齋藤大使の視察印象

對日感情は非常に和

の北支政策を

汪兩氏は確認

歸任せる黄郛氏語る

▲廣瀬豊作氏(大嶽省文書課長) 二十日午前七時音別単にて來連 ヤマトホテルへ投宿 一年日午前代機にて奉天へ 一里末雄氏(鑑護士)同上平壤へ 一里末雄氏(選信局電氣課長) 二十日午前七時二十分新京より

浪 花 節

孝子迷の印籠 吉田奈良

あこがれの空

藤 山・関

落 新

電左近と

分節

文

職の恐日患者よ敗を題さわやう沿道の日滿人眼を障つて転逃、 ◇銀製を聯れて新京へ。

電計檢査 會計檢查 含計檢查に、馬渡島は 二十日午後四時四十分着運、二十四日まで開東職、二十五日より月 四日まで開東職、二十五日より月 売した、耐氏は来る二十一日出曜 市内各方面を騒話電守甲の烧郷を 整架課長甲村繁石の耐氏はず九日 前十一時三十分大連港外着線に 米國經由歐洲の近常な祝然と明報十月二十一日禄置解戦の定期総で うすりい丸で難速、郷里に立寄り交した、耐氏は來る二十一日出戦 蛇角 海軍是機

歌行流の秋るた爽颯

照ろだやないからす

明 勝 木 耶 東 市 東 東 木 東 木 東

愛

縦ばざなンてのもある。 アメリカの巨人群來る、憎さ ならの事變ドロ、中には三角洲

機の筋、風強くして船に乗替ふっ 僧し関しき相手よ、願かにやツつ れの用心が強め必要。 凄じい現地の勇息に、吹き飛ば 大場警務局長の足り空なる飛行

仕滿 新機構 の實施期 せど

設施にる文武分低 いて対機論百出し められて階級の手 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 大きない。 大きない。 、 、 大きない。 、 、 大きない。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 動の強化を織り、近く全流巡査大きに終端な連絡を執り、至前的に運 動方法さして州内外の各際に署域と連痛な申合せななし、これが運

議會の論戦

子の融版を振り締めてゐた。 財的つた。彼女の刷手は、宏樂倫 がなるは思は下目を見聞いた。

深刻豫想 在滿機構問題

東京三十日登回通」在滿樓構成 東殿の情報に収まらず、又陸軍省 東殿の情報に収まらず、又陸軍省 東殿の情報に収まらず、又陸軍省 は集備金支出て年度内性能を要求 してゐるが、大蔵省は立窓中の信 してゐるが、大蔵省は立窓中の信 様である。 さ灰感を抱き、著し続れの顕微策、を有し、同田首相は優柔不蹴なり 驚は軍部艦頭の解決器に反射念思さなしてなるが、貴族院と珠民國 故今後の政策送行上必ず破綻を來

く確立し能般の政治も騒響に進歩 他の離先の暴に識でたき意味を有 してるたが、満洲圏の外交政策制 でたき意味を有 する。

臺灣に歸省

滿洲國の

のであるので、目下のと「官より大概を決定したのみで終六」にも建しなかつた。目については何分豫算を「旨答案あり、派田氏その他の歌称」の意見が開陳され

大連署巡查四百名

對策は言へない

門住途上の 大場警務局長談

壁ぐ時に非ず

内幹部の執れる今

けふ辭表提

保媒名林巡査を座長に推し、座長

に運動強化

機構が布かれんさしてゐる、こ に我々の主義主張さ異れる政治 に我々の主義主張さ異れる政治

を消場に踏つたさころ「幹部に強

如何れに對し我々の執るべき態度

產業調查

川島公使來滿

一族廿二名を引具して

の色を双類に沿べながら流暢な日った、同氏を外突部に訪へば喜び

『東京二十日 数回道』 通機膨胀の 東門家である前ギリシャ公使川島 東門家である前ギリシャ公使川島 のかを受け十

山映に蜻蛉源打つや風強しの

につき身分を保証するこはいふが、初めから整理するこというてやるものでなく心細いこさだ。 しかし今騷ぐさきでなく、ゆつくりご野策を練つて軍部さも協ってなら、終順に聞つてごうさむべきだ、旅順に聞つてごうするか、それは今いふこさは出っないが私には自分の考へもある(寫眞は大場局長)

「大概なはく

お前だ、お前の機だ」

別所へ隠された」 部之 **两名**

洋琴協奏曲一時期

管及提 紅 翠 樂大學祝典―序員(ブラームス) 提琴協奏曲―第1番(パガ ン国立歌劇場管絃雕 指揮

ウザの泉(シャノソスキー) 一 一 髪ロ漿斑 (ショハン) 帯一 美曜曲

四、曲一紀イ長洞(シューバート)

夢遊病の女―歌劇ペリー タル・モーン パット 宝 樂 説 合 アランデンブルク協奏曲―第2番(中 ツ (モーッアルト) 室果院合奏圖卜 — 指揮

ウ (シューバート)

った。締めたさ思ったればし。 棚でで、三枝の 俺が附いて行つたのを知らないだ 新鑑記行の継根まで、見え隱れに手が三枝なら、仕事が仕場い……

一部な家で出したのが、あの電報では知れたことだ。と云って、人のは知れたことだ。と云って、人 「あの電報を見れば、幌がで修は か、前よりや二倍も掛いい、仲を か、前よりや二倍も掛いい、仲を がも前を追い出すごころ 獨洋 奏等 奏驾 唱音 奏零 即



(124)

田 の柱

で ゴクリで鳴を合み込んだ。 ボカルなにもつりこく附き纏つて あたのな、ちや、まるで知らなかで あたのかし 島政二 太郎 三曲合奏

ヒクター の十月新譜 宫內省栗部

(九月廿日發寶)

周水子に勢揃ひし

た海軍機

を構立し氣勢頓に揚れる米國選技を構立し氣勢時に続いて世界的好能勢
を構立し氣勢時に続いて世界的好能勢

舟同越吳

茶氣滿々

-選手

來る

置屋を脅迫

朗らかな着連風景

大阪のゴロツキ

際、乗艇した客の航客本田九州男郎職、定期船長秦丸が門司出駅の

呑氣な御本.

我等が

誇る

國艦

を

船客失踪事件

が切符だけなポー

市内警域町四四線披置層天狗席に破の阪本裏の紹介では本年二月上旬大阪の阪本裏の紹介で大阪市西區本町通三丁目離本元一の長女元子へ

難病者の福音

た 大阪 融版側でも本版側でも 本版 でも 本版側でも 本版側でも 本版 でも 本版 でも 本版 でも 本版 ・ 十七日 本田 なるものより「解釈の 多類 を かいた これが、 同 概 会 しかり 下脚 後 中一 と 通知あり 高く しかり 下脚 後 中一 と 通知あり 高く

この日本戦

豪華なプログラムを揃

明夜・協和會館で

まずまい、又今一度短距離のりまずまい、又今一度短距離のりまずまい、又今一度短距離のりまずまい。又今一度短距離のですがさても好いでて頂いたのですがさても好いででかった。 かかった アンディションですよ、一同し流

二十一日午後七時中より級和會館 に出場する瞬間選手を概念には且つ解 でこの大會を一層盛大にし且つ解 でこの大會を一層盛大にし且つ解 がするため、

大分縣出身 大連大分縣 出身 大連大分縣 出 教 山會 身の聯合艦 身の聯合艦 身の聯合艦 身の聯合艦 かって催すが出席者は東希綫並へ かって催すが出席者は東希綫並へ 申込まれたとさ

カンニガム主料は平前十一時消滅かな逃べた

滿鐵總裁訪問 二十日來

選手マギ

機密文書を盗み

茂灘映聚軒の誤りにつき訂正 の記事中伏見遊晩繁軒さあるは老 の記事中伏見遊晩繁軒さあるは老

天気予報・

で密送

人港の

【奉天電話】 國都狀間の途次職合 を動物を表示の上空に現 を変わを表示の上空に現 を表示の上空に現 を表示の上空に現 を表示の上空に現

出迎へあり一同は直ちに豊食な 出迎へあり一同は直ちに豊食な のた。 電長代理その他日滿官民多数の つた。 では、 関子備除長、関合地方事務后長 向ひ。 のか。

向ひ風の為可成り難コースであれて、殊に一米から十米のエアった、殊に一米から十米のエアった、殊に一米から十米のエア

つたが一行の指揮官縁限大佐は十二時再び空の人となり側都に向

米陸上選手來る

海軍機編隊の歴史的

壯學

然 風 劈

周水子原頭の偉觀

身躍國都 の訪問

ことえつきさうな寒さだ、その中で、出肺薬師の空の勇士たちは凜々しい飛行脈に身を励め四度、風速十米、郡風に歴せられ、あたりの芝生はよれくくに砕け、デツさしてゐるこ手も壯途に上る我が大海軍機の精鋭が曉の旭光を浴び、その銀翼は燦々と照り映えてゐる、緑溢二十日聰の周水子原頭は物湛い烈風だ、黎明をついて大連飛行場にはけふ滿洲國首都訪問の二十日聰の周水子原頭は物湛い烈風だ、黎明をついて大連飛行場にはけふ滿洲國首都訪問の リンの補給、機體の整備に大強である

一 数整列し 松 て家庭艦士たちは さわが艦長は破刺れる氣魄を漲ら 、すらり空の勇

に現した

時五分・奉天に着 緊縮隊形で難コースを突破

空を い日の鬼が向ふ

電一行は滅州國族間の第一夜をヤンで來京せる宋文職合艦隊引令長



かけ

北京通過,當, \$1.000 · 双原大佐

各都市への

八月廿

日より二十日まで

渡織



五分新京神社を参拝しに明かしたが二十日は

同八昧卑能都選際原を活動同居屋 勝り午後一時選下、午後四時西公上にて所居長の説明にて國都の趣 職に於ける日流電民合同主催の動き、地震政権は、同十時十五分旅首 て約一時間に配り「時局さ海軍」・ 「常は同三時より新京高女職堂に於時地の職が後同十一時常送那に同僚」 本題する輸資を行つた

相撲さ端艇は帝國海軍の二大運動

の無者が出場ら東西取組、三人技等の創設が行は、1月午後一時よ 五人接等の創設が行は、1前提序接 お の駐餓を呆するであらう を会分を、海 軍協会では本社後、海域、土建協会、海 電気 では本社後、海域、土建協会、電々並に水

建の局長の参集を取めて協議し極いないので同野助役は直に西大管原へたので同野助役は直に西大管原へたので同野助役は直に西大

波を怨む 艦隊入港第三日

ツト或はカツターで 續々 準盛に 一 演題の下に講演會を開催する波が冷めにち午前七時頃からマデー室において「車縮問題に就て上陸が止められるものかごうれる「會では二十一日正午より五些風流と波が高い、だが築とい半戦」の入港を機ごして社員會集委風流と波が高い、だが築とい半戦」の入港を機ごして出員會集委機能へ落第三日目の二十日は郭本

スポーツ萬華鏡、驚異の少女日佛對抗競技大會實況三卷へハ 車に激空車機は破業々々さなり馬井は命

軍縮問題講演 聯合艦隊

新綱はビューローへお問合せ下さい 管質 七五風・會員 二〇名募集 一〇名募集 二十九日 清

より二十三日まで栗組旗中五、六十一時脚野市脈役を試聞、二十日十一時脚野市脈役を試聞、二十日

を被し切って飛ぶ板板なペテット 地心に、抗解の乗艇も出来すうれ ・ 地間は大事なこり窓に舞戦な中 震り舞選、街は開墾らす艦隊部で行く、けふばかり海上は海軍 に単頭に集まつた人は鬱憤をはち かばかり海上は海軍

龍頭行の會

百名募集

に煽られたが、準頭は些か寂しい 主催ジャパン・ツーリスト・ビューローを費 大人一圓六〇銭 小人一圓八〇銭 小人一圓八〇銀 小人一圓 九月廿三日(日曜日)

おまけに洋湾等の試飲までさせる おまけに洋湾等の試飲までさせる た機に描きながら市中へ、市中へ て栗組真の詫は樂さい一日の鎌定 で栗組真の詫は樂さい一日の鎌定 今販賣店に入り込み土産物の職入・単頭構内の大連水上行離組合の職 天氣 嘘嘘ないご

歡迎

艦隊

潮を 浴びた服も爺にせ

本秩父丹前地の色々と夜具地、座布團地、裏絹類

歡迎相撲大會 あす電園下で

昌

八青山山シ

◇今秋の絣流行の時代潮流に

特の珍柄種

產地直賣

磐大 城 町連

ちるなや

電話六三九二番

舶耒時 無税港の大連で ât

は (順はるい)

森 洋 行營口近泛洋行

語言

近 3 洋

本日からデワーの ライトランチを始めました 是非一度御試食下さい

五

ガス会社向側のカス会社の側

和洋菓子ご喫茶の店 喜久屋

電話八六〇七番 塔 店

わた・ふじ 珍 味 中 心 北京料理邦人唯一經營 北京料理 電代表二二一〇大連連鎖街銀座通

眞綿ふじん·夜 見地 元氣で越へる五

西

「新京電話」最近端州國各機關の として各方館に凝波と和艦型の変数に もれてゐる物味あるので新京窓長 ちれてゐる物味あるので新京窓長 たれてゐる物味あるので新京窓長 の徒一緒を期する。 興安總署の日系官吏

大喜びです、一度是地で受ける盛んな歓

は果然緊張の色を震はせこれが軟によって事情にある。 一般に新いて事情にいよくを 対によって事情にいよくを 対によって事情にいよくを 対によって事情にいよくを 対になり身構に乗安護器に引渡し たが直に選去處分に附した模様である。 たが直に選去處分に附した模様である。

其の後親娘から音信すらないの で不審を抱き入を大阪に派して 加フエーで女給を働き、父元一 カフエーで女給を働き、父元一 カフエーで女給を働き、父元一 は今里新地でゴロついてゐる無 は今里新地でゴロついてゐる無 は今里新地でゴロついてゐる無

次車と馬車衝突 十九 日午後四時四十五分膨脹緩勢が車

各地溫度(計十一時)

干潮(午前 八時三〇分 清潮(午前 八時三〇分 年後 八時三〇分 所

今日の小洋相場(計学)

特選映畫週間

特選映畵週間

讀者優待券(松殿)

では新典より離れるこ共に日活出 現所を握手を求めたるこ共に日活出 現所を握手を求めたるこ共に日活出 出張所是は十九日夜急遊赴率した さ見られ、入れたし上典されるもり

社會式核品食スーソクフドルブ 京東

讀者優待券人松風小

後援 滿洲日報社

滿洲日報社

獨逸全發聲『卜

佛蘭西映畵「他

にろヴ

ガ

傳根承 傳根 學有…根切れ…健康—会 學有…根切れ…健康—会 學有一般切什…健康—会 學有二級井ど儿體話八五三一 學可二級井ど儿體話八五三一 學可二級井ど儿體話八五三一 學可二級井ど儿體話八五三一 學可二級井ど儿體話八五三一 學可二級井ど儿體話八五三一 學可二級井ど儿體話八五三一

日活音響版

前

日活館にて・讀者優待

はにピヨイご跳越して、ほゝゝここ小突いたまゝ、白い臓もあら「お戯けでないよ」

母娘の者は、こま堂の人柱に塗り

した文な、一度默讃した左騰は、「何だと?」竹筒の中から取り出

新富座新興と絕緣し―

吹込まる

コロムビアレコ

ドに

日活と握手・奉天銀幕異變

同で、心神いた一人が、がんだう提って、心神いた一人が、がんだう提って、心神いた一人が、がんだう提って、かいげる。

第1年 対 名手カール・ホフィンの総かなカール・ホフィンの総かなカール・ホフィンの経かなカール・ホフィンの経かなカールを音響もよくペルンハルト監督が総織に駆使するトールト監督が総織に駆使するトールトを表する。

後田康院

電話二二九二四番を断っている。

を用ふ詞 察隊の物語。 殉職の警察 満蒙の一線討匪に活躍せれ

察官警

大護遠東ホテル横

洋服類奮裝

何だ、こんなごころに、こんな

なる一つ家に閉ち込められたる者がなる一つ家に閉ち込められたる者がなり。お教ひ下さらば、世々年々なり。お教ひ下さらば、世々年々な、これる者が、お妻のようない。

上 奉天館の日活直營問題一段落以来 一時平鮮の規態にあった奉天峡郡 天峡郡がよき起った、從來新 東峡郡を上峡してるた新窟座は奉 天峡郡がよき起った、從來新 を上峡であった本天峡郡 の規態にあった本天峡郡 の規態にあった本天峡郡 の場がまき起った、從來新

發 眼 品新

機関銃のつるべ撃ち賊は知りてか逸早く

算な就して逃げ恥するた無二無三に殲ぎ挽ひ 無二無三に殲ぎ挽ひ 無のより登る

進されるないであるなどであるなどである。

琵筑 琶前

Щш

元の

加藤庄

機獨佛名映畵週間

日

げさねの米白

咆えろ ヴオルガ

トンネル 同1.19

经经经经经

日封打

初顔合せの明朗篇

(S)

インガキ

十五卅錢錢錢

午0.00

同4.00

同5.19

同9.24

满

下流へ行つて、

らう。この崖の裾なめ



さ、足能の職を逃して、源三郎れがある」 永遠の疑問符合し 造か上の歌が切り

竹筒の口に、 作筒の口を、蠟で封してあるの 轍の間まりがついて

投げ捨てた――イヤ、投げ捨てや嘘いた左騰、そのま、草むらへ嘘いた左騰、 げたのた見るさ、総花活けのおさ川岸の水草の根の間から摘まみ上

ずかあるさは、知らなんだが──~ こまな光頭に、一行は 面白い、助けて 膳 忘 (231)作

りを臭れて、伊賀の暴れん坊と先ったなら、何處へても顔を出し度い 乃やお藤姉姐まで、 のて、新崖をより登 新崖をよち登 さ膝葛の蔓につかまり 、人さへ斬れるさこ 映重 登り出した。萩 と演藝 つたのです。 間間の場: 護摩堂の壁へ

行は直に造管率行所に近い護性を対している。 て、来援の女にあつた。これは恋 配けつけたのだった。

家へ、襲から臀崩込人だ時は……なお美夜ちやんの幽閉されてゐるとお美夜ちやんの幽閉されてゐる は、物言ひたげな、風骸を示すのて類に日光の町のはうな揺さして R光の町のはうな撒さしてよゝ、左騰:瀬三郎へ向つなゝ、左騰:瀬三郎へ向つ 產

斯勒特爾大 所造製。即原河



專門 毛皮ナメン

染色、洗濯、カワウリ、 狐、

主

伊勢町電話3715・4713

紅葉の絕好期 呼電話 〇二九三番 大連沙河口元町五七

8日間の旅行 9月22日 土曜 大連赞 24日 月曜 京城農寮 25日 火曜 內金剛探勝 26。27日水。木曜外金剛探勝 2 8 日 金曜 五龍背温泉 2 9 日 土曜 大連着

獨佛名畵競映陣

魅惑

グリココロコ

テマリ

三回興行の日活館に

本紙の割引券を持つて殺到

ジャパンツーリストビユーロー

九月 物大売出~

色揚顔付ケ **愉快なる倶樂部へ**

山五日ヨリニー日間 家包俱樂部

衣屋多

始致します。 焼、きんつぼ製 一つ實演場擴張

うない つめたい 最初の 品品 V ルビ黒回航ッ分

大日本麥酒株式

秋の月ならばる渡る…… ーシン のんだら気が晴れる

貸與せぬ方針

新設計畫工場に打擊か

| 大阪特體ニナ日餐| 十七日麻殿 ない | 大阪特體ニナ日祭 | 十七日麻殿に | 大阪特體ニナ日餐 | 十七日麻殿 | 大阪特體ニナ日経 | 大阪特體ニナ | 大阪特體ニナ | 大阪特體に | 大阪特體に | 大阪大阪電影大阪 | 大阪大阪電影大阪電景振興 | 大阪特別 | 大阪大阪電景振興 | 大阪特別 | 大阪特別 | 大阪特別 | 大阪大阪電景振興 | 大阪特別 | 大阪財 | 大阪特別 | 大阪財 |

右によれば原料鑛石は日本鑛業 生産費計算は明確でないが大體 生産費計算は明確でないが大體

まして、 生り受託の発さ共に悉く滋味に帰るのもある状態である、要地在賃は新数の を財態である、要地在賃は新数の は出版に懸念せられるものもあ

十月迄に完成

し米明金市にも

を組成する事さなり職場の結果取款で未晒 がロンを除く総職会部 が出ては要様に禁止さ を組成する事さなり職

日

新京商議が開始

號九十百二萬

附屬地返還の影響

大連商議の意見書画

治外法權撤廢と

東一に今日の院職滿城公費・湖

大が値かに戦数に於て二二・三% 金額に於て二六・五%より種擔と

國人が課税の野銀さして極めて登

の經濟的影響五、行政權返還

(日曜金)

日に開催

の間一時的有蓋単不足を來し、定である

一株野成三十三萬六千八百二十 大袋、濠洲野は六十四萬千五百九 袋で濠洲野は六十四萬千五百九 大き、濠洲野は六十四萬千五百九 大き、濠洲野は六十四萬千五百九

人荷織き三十三萬然に上り在庫高

は航地を辿つたが現在は一服財態

◆現物前場。單位經) 銀對金銀對年、 銀對金銀對年、

野近11150111501115011501

満電解消は未だ

待遇低下も行はぬ

上極また戦調を流し監市は畿州粉なほ上旬の市況以海外一進一速に工事機の入骨を見る響である、

古泉技師長の歸

0

温みが感し

る不能需要期

內地寄安引

高

地株聢り

奥地相

場

株

出來高{銀對洋 六萬一千圓圓

商事がでは沿 に入る、滅滅

株 けき大阪は鋼新三個 株共一個網み安に寄ったが引 株共一個網み安に寄ったが引 株共一個網み安に寄ったが引 様、東京短期の新東も百三十個 全東京短期の新東も百三十個 全東京短期の新東も百三十個 全下が引除いづれも二、三個 るだが引除いづれも二、三個 るだが引除いづれも二、三個 が高株共需安の引高で紅配碇 りっなったを懸念されてぬた 中旬貿易も出極かみせにので 中旬貿易も出極かみせにので

日蘭會商委員會

谷、木村、山中の諸氏も参加も 得る関印側は輸入分科會主任は ゲルデレン、輸出分科會主任は がルデレン、輸出分科會主任は 命される事になり具體的討職は 輸入問題を先づ討職する事に決 定した

輸出輸入二部に分つ

頁擔割合 滿臟附屬地 后住者戶數割 高洲電漿岐份公司登起人の一人を 高川電気 大阪 にに二十日午前七時四十分 都列車 にに二十日午前七時四十分 都列車 にも述べた如く三十餘年来願果州。 による痛切なる整漂的影響は行政でよる。前所歌の感覚に伴うて養生する。前の歌歌に行政を表する。前のない。 一般の表情が さして賦課されることを受信せれ機は附属地在住邦人に別個の負擔 でいたらう、新會社へ移管されて ある、淘汰なご絶對に行はれない、令 のま、引縮がれること、なってしまって現在の のま、引縮がれること、なってしまって現在の のま、引縮がれること、なってしまって現在の のま、引縮がれること、なっても のま、引縮がれること、なっても のま、引縮がれること、なっても のま、引縮がれること、なっても のま、引んなど絶對に行はれて なる、淘汰など絶對に行はれて なる、海太など、新會社へ移管されてて

から野野の融行。 から野野の融行。 から野野の融行。 から野野の融行。 から野野の融行。 の出炭を督歌し百萬戦の貯炭の の出炭を督歌し百萬戦の貯炭の の出炭を督歌し百萬戦の貯炭の

北濱定期の前場寄りは大株九十錢安、大新八十錢安、獨新三個四十錢安、頭紡一個四十錢安、河六十錢高、新東七〇四六十錢高、日産一個三十錢安、獨新三個四十錢安、河六十錢高、日産一個三十錢安、河六十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高、日産一個三十錢高、新東一個六十錢高、日産一個三十錢高、新東一個六十錢高。

が 票 現物

101,50

10元130

金票(現物

1111780

FE 1111

ろ

求めて工場の擴張さ設備の完成を 三程町に千六百六十餘場の敷地を此處に於いてか大正十三年大速

流州地方の風土に適し刺戟性無

し理想的に製出さ

く無候に速質せで香料し優良で

來天票 現物

所。 四00

天

り大きく橋へてゐる姿に何々ゆ

才未 福奉公司 高洲取引所仲軍人 及縁道附属地は同一の經濟的な れるが如きこさ

期(單位十段)

飛行整然に管理する處が多く真 大萬形能行を築きたるもので全議

現在萬玉工場の生産能力は

化粧石鹼は三十萬個 洗濯石鹼は四百萬個

に喜ぶべき事である。

現萬玉惣太郎氏(舊名梨治氏)

粉焼の魔分に困った管時は粉

て不足が軽だ

大空空大

自己の趣味に端か数し寫真機及材

指導な心から翼つて不厭の努力

ますが此上共皆様の親切なる御

の直輸へ商を市内吉野町に開設

るや同業者間の多大なる脅威さ

鹼工場

『寫真は萬玉洋行の石

寄豆

たが膨脱なる氏は瞬和七年十一月たが膨脱なる氏は瞬和七年十一月

今や北鈴方面に洗進出して居り

磨石鹼は二

産

◆・・粉炭のようー 塊・地楽歌騒ごは如何にしてが を擦くかにあつたが、この が変に粉炭がよく出て不足が

大阪で創立總會

けふ全般的炭繰協議

九 年

+

株開放は十五社

に通響し且つ特重度この計算で の知さ物能がら数率されて思いて完成で完全に中間 の際立に依つて思いて完全に中間 のでは、行会に中間

審議會で決定の模様

一 るので、地質工場用炭の需給に就 なに輸出炭の激智に伴って著る しく粉炭の不足を感じてゐるた め、炭種別による配給に就いて 本會能において根本計畫を樹立 すること、なつてゐる 聯蕎麥買付

商事部販賣會議

入札に参加 入札

東京二十日 東京二十日 世のかさの歴 を通じて持な を通じて持な での歴

トり本位輸送に

貨車計畫成る

る関語で数さる 係の数学では が変化のチ 大した力瘤を入れて であるので、この 類四千萬郡は 製のもの、ウルガ製設しやうご云と 、数電所はネグ

月 より配車係が建てた下旬の輸送部 送もほど本月中を以て完了する見

上り貨物は漸く減少

蘭印向を統制 **颗組認可** 中旬貿易 大藏有數表主要可易港十六 出超千二百萬圓

綿織

た関係もあり所要車選増を示した関係もあり所要車選増を示したが仲秋節を境さして一段落された。た最貨物三〇六、三四五匹、定量貨物に北し二五、〇〇〇週の電流少さなりいよくとり本位の輸送が下り本位の輸送に北し二五、〇〇〇週のは少さなりいよくとりの輸送に地で、大四九四十二十二一五、〇〇〇週の電送が下り本位の輸送に対して、なつた

マヤンブリックに輸入の数回通」 腹眼球所で 千国)

輪へ高は八十七萬八千四百五袋、 九月上旬における大連港の小参級 濠洲物が優勢

米日爲替安で 鈔票昻騰 矮钞

麻袋漸落

之を選続しより 機強るな行 時歐洲大

を登満戦略して此れた2000年間に出る を登満戦略して此れた2000年間に出る を登満戦略して此れた2000年間に出る を登満戦略して此れた2000年間に出る を登満戦略して此れた2000年間に出る を登満戦略して此れた2000年間に出る を登満戦略して此れた2000年間に出る 母党歌の軽響獲得に成功と途に全用整値を認め燃薬は域の振張に中 事に努力して来たが遂に萬玉獨 良にして低廉なる品を製造す 大豆に依り大豆下栗な農東ゼ なめ不能工業開發に努力して出 カシヤ不能は最新化學を應用 の石臓製造に成功したのです

不能が全部舶米品に限られて居 こまり挽まざる研究を行て優 たが其の開船米品さの競争に幾 の事に着目幾多の機性と辛惨な

獨逸輸入稅免除 物不足に惱み 油粉制限も緩和

か

市場電報

大阪株式

前当時前場引

月末まで発売 大概がは今時小婆、を行はんとする諸洲低友識資株式 を動したが、 が如何に國内の穀婦、本格館活廠に終る歌定である重 が如何に國内の穀婦、本格館活廠に終る歌定である重 が如何に國内の穀婦、本格館活廠に終る歌定である重 が如何に國内の穀婦、本格館活廠に終る歌定である重 が如何に國内の穀婦、本格館活廠に終る歌定である重 なるかか語るもので 役左の如し 海教取締役方田俊之助、常務取 衛神役佐伯正芳、取締役小倉正恒 高川田順、同山本信夫、同木下 高川田順、同山本信夫、同木下 高川田順、同山本信夫、同木下 高川田順、同山本信夫、同木下 高川田順、同山本信夫、同木下 高川田順、同山本信夫、同木下 高川田順、同山本信夫、同木下 のるかな譲るものでいか如何に個内の穀物

况门中山

出来 包 電 高

二九九〇五〇

国民な

稀に見るに止まつてゐた。

御援助に依り幸い大過なく今日

全浦の皆様の親切なる御指導さ

の在る事は真に感謝に堪へませ

氏は深く此た遺憾さなし敢然立

極めて低脈粗戀なる下級品が消費

温顔に笑かふくんで左の如く語る

質素界の第一人者にる賞録を示し

れてゐた爲日本製品はきはめて

東京株式

東京期米

印度麻袋 一种動直積 三留比ペケセ 一般動直積 三留比ペケセ

産

度の鍵金を貸し取引所の等現を職業會議所に於て協議之で同じ程 買氣薄に

◆定期前場(銀建) 大豆軟調

▲大 豆

八十月末 〒150 四日

1月末 〒150 四日

1月末 四日

1月 寄付 高値 安値 大引

限 月 寄付 高値 安値 大引

限 月 寄付 高値 安値 大引

限 月 寄付 高値 安値 大引

1月末 〒150 四日

1月末 〒150 回日

1月末 日本

○現物前場(銀建)
○現物前場(銀建)
○現物前場(銀建)
○現物前場(銀建)
○現本高 百車
曾通(設込 出來不申
日 粕 二六〇 二二五〇
出來高 一等在百箱
高 梁 出來不申
包 米 出來不申 大豆 三六二二車 豆粕生産高(廿日) 豆粕生産高(廿日) 定期喰合高(料九日

土日鐘東大同滿電錢新五

商 四、四〇〇枚三、八九〇枚 品

と成というにころ解水品の輸送し傍ら蠟蠟製造をも飛れて時 充分ならざ 料包製品の るため外関 人は経々増加し

ら明治四十一年小規模でも下場なの響音にて比較的安價なるに着目 原料や脂皮及滞置で輸放解大豆油 業方面は尚さら微弱にてこさい て内地製品の輸入少なく流洲工 時の滿州は戦後さ

究に着手した結果の独石臓の主要のて不臓に素開發に擬進す可く配 穀間を営み謂かに滿洲の特來な 殿父は明治卅九年渡滿して一米 く舶米品の輸入な使つの外は

会践の存送における全般的炭繰りに就いて経験を行つたが、今冬 から昭和製鋼所及び減洲化學工製 から昭和製鋼所及び減洲化學工製

これはドイッが如何に國内の教師をは遠からす緩和されるであられて、此の慌然では海税の輸入を限し、強からす緩和されるであられば、

近く設立か

營口取引所

際電では此の極續或六十餘名が何一於て暗窓中であつたが、満洲側線。一般立についてはその後日滿棚議に一般立についてはその後日滿棚議に

第一回 元邦(分2 第二回 元邦(分2 第二回 元邦(分2

ブペ 七五三一十十段 ロンゴ●月月月月月月日初● 棉 チル印

多かつた。

洲飛戯で製作の王座に君魔してla 持つ現松林町の萬玉洋行は今や滿 明治三十九年大連大山通りに萬

高の事業の不振に変化するものが 1 高洲開墾者多く資本投下も軽くは 社創立當時は日露戦後日尚ほ遂く 覚ましき脚進を行けて居るが、同

世の確認は一般不能の輸入を使って であるである。が常時油洲に於 であるである。が常時油洲に於 であるである。が常時油洲に於 であるである。が常時油洲に於 殿さもなるものと斯界より注視のからず淅州為真機輸入界の一大権 耐へい。 督相領に依り愈々多端なる業界に 的になって居る事は重れて慶賀に おいて目覧しき活躍ななし今や響

脱せば廿二貫餘の體稿は堂々満洲一日刺を通じて大萬玉の麩成を

は瀬時一衆春間に好感な理へ経々 旬先代惣太郎氏病要後は一切の家

萬玉洋行の現狀

石鹼工業

棉麥借欵

飛機購入流用

駐米支那公使の

否認

大連點聯合會

實行運動申合せ

電東京二十日後國通二二十日在マニ東京二十日後國通過二二十日在マニテ木村總銀事より外粉税に逃した報告に依ればフィリツビン憲法に依る通酬板本低約案を探索した五世島長び米國市民又はこれ等の市民に依り赴くさも百分の七十五以上の株式又は資本を保有せられた五の株式又は資本を保有せられた

比島共和國」は

三、國民兵役及び豫備國民兵役の一、國民は車務又は軍艦動務に服する義務あり、一、常属兵役の組織及び設備

及び豫備國民兵役の役の組織及び設備

國防省も新設

憲法會議の經過

職じて更に同國防委員會は左の諸一六、國防上天然資源の國家開發 れば小寶商家を禁むを得す れば小寶商家を禁むを得す れば小寶商家を禁むを得す 和設 知、甲種高等學校及び大學に於け る義務的軍事教育強制 知、甲種高等學校及び大學に於け

日

殊に警務局内臓者間には頗るする意呼轍次部められついあ

大連四警行署の幹部が途に鮮表を

窓面外供等職総線線線の上同問題に關し善後處置を講すること、なつた 電歌に提致し河田書歌音展を独っ時間に取り繁榮な場合におび府としては改革案の内容並びに根本精神を更に電歌に提致し河田書歌音展を終一時間に取り繁榮な場合におび府としては改革案の内容並びに根本精神を更に電歌に提致し河田書歌音展を終一時間に取り繁榮な場合におび府としては改革案の内容並びに根本精神を更に電歌を開きる。 (本語機構改善問題に関する現地戦成の不満に鑑み政府は来京中の水谷蘭果職交書課長を二十日午前首根

政府の措置如何

厚星

タンサン シトロン

人格ご學識

れられたものだ。

…さころが見移りた

兼備の

中の理談に難して最も注目されて 東の理談に難して最も注目されて 東の理談にかても極めて國際主義的色彩の誤算なるものにして國際主義的色彩の誤算なるものにして國際主義的色彩の調整に対して最初で國際主義的色彩の影響という。 滿洲國の稅制 注意の焦點は

いて滿洲國大官中断然光つてその品格を學識素飾の監にお

じく此處に居住するものに、

ルーズヴェルト氏は十九一ヨーケ十九日發國通

ホテルに假寓してゐるが、同

氏は時々寄り合つては「全世

今から十年前段祺瑞氏

◆・・滿洲國宮内府大臣沈瑞 でして歐洲の樹郷底に活躍し さして歐洲の樹郷底に活躍し でして大十二スタリー公

機能主義を主張し

◆…沈宮根は全新京ヤマトのもが宜なる哉である。

しかつた頃時執政

時代國權回收論宣

ら掘った事がにもがいてゐる

麟氏

★…さころが、配格り歳變つ で内府大臣に納まり、警で表 宮内府大臣に納まり、警で表 宮内府大臣に納まり、警で表 の会してもめる

現地職員を慰撫

新機構は現職身分に無影響

けふ關係閣僚會議

廣瀨豐作氏談

珠玉篇

の狀態を具に視察して二十日午前更に北浦呑地熱沙方廊の産業經濟更に北浦呑地熱沙方廊の産業經濟

めて机に向つてゐる。 村花畫伯が進ん の書伯は想

成局人として莊重華麗なる筆觸を謳はれてゐる

第人の聖地巡禮の旅につき、嵩嶺を肥やし筆硯を清新聞挿畵に一新機軸を劃する意氣込を以

我社夕刊連載の林不定を捲き起して宛然左膊のとき、現代人と共にのとき、現代人と共にであらうか。作者は凡であらうか。作者は凡であらうか。作者は凡であらうか。作者は凡であらうか。作者は凡になる。

松不忘氏作『丹下左膳』は劇となり映畵となり異常なる人氣 の全心全靈をもつて親鸞といふ大物に真正面から打つかつ の大変やか、草におく露も、虫の音も、静かにもの思はするこ で共に今も生きて、現代人とともに呼吸し、惱み多き人類に で本の遠の聖親鸞の姿を、吉川氏の麗筆は如何に活現する で本ので、現代人とともに呼吸し、惱み多き人類に で本ので、現代人とともに呼吸し、惱み多き人類に で本ので、現代人とともに呼吸し、惱み多さ人類に で本ので、現代人とともに呼吸し、惱み多さ人類に で本のを立る。宗教復興 で本のをで、現代人とともに呼吸し、惱み多さ人類に で、現代人とともに呼吸し、惱み多さ人類に で、現代人とともに呼吸し、悩み多さ人類に で、現代人とともに呼吸し、 で、現代人と で、現代人と で、現代人と で、またい。 で、また

最

高

標

品

點は満洲國爲政者の充分留

兩國外交當局壽府會見

に決定す

盟織綿の原則な決定しバルツー外標がバリに時低するためあさは極國裏門家なして同盟條約案を作成ツシグリ兩氏さり職リトヴイノフ及び駐側ソ職大便館菱事省ローセンベルグ兩氏さ倉銭の結集2佛同ツ東京特體二十日餐】ジユネーヴ淶電、十九日午後フランス、バルツー外相及び外務経政務局次長マ『東京特體二十日餐』ジユネーヴ淶電、十九日午後フランス、バルツー外相及び外務経政務局次長マ

時間との関係 『ジュネーゲー九日食回通』佛ノ同點締結就は全や認խの常識を取が出来たさしても職態規約の範圍を出ないて意明してゐる

廣瀬氏歌迎會 廃漏火蔵 電変書課長の來運を機に大連商工 電変書課長の來運を機に大連商工 を開催すること、なつた、更に同 日午後六時より引報さ氏の敷護會 を開催するが出席希望者に同 要會を開催するが出席希望者に同 要音を開催するが出席希望者に同 といて を開催するが出席希望者に同 を開催するが出席希望者に同 を開催するが出席希望者に同

三日離京歸任 字佐美顧問

『東京二十日登画通』二十日午前 九時三十分首相原版に河田韓長さ で原田外相と会見らたが河田韓長さ は右会見後字佐美郷間は東る二十 三日時低する智語でた

ソ聯軍隊撤退希望

日露條約適用も結構

満國境附近の

爆薬を用ひて の邦人農民は戦々競々たる有様だらの襲撃にソールトリテア平原一帯の襲撃にソールトリテア平原一帯では、大きなのが、大きないのが、大きないのが、大きないのが、大きないのが、大きないが、大きないが、大きないが、

要求重ねて取締

暴動化 外務省意見

被素を興れたが耕地二十エーカーと相前後して十九日午前二時頃同じく一邦人農民の保宅附近にあるじく一邦人農民の保宅附近にある | 東京二十日登回通] アリンナ州に於ける支那人所有旱魃用水溝映に終する外移省の意見左の

邦人耕地を龍

アリゾナ排日

うの段極は聖人も微笑なもつで問親に」「愚禿親鸞」の大窓 ふ行をせ合打の/人聖鰲親/ 伯畵花耕村山と(右)氏治英川吉者作 て、この長編の完成には、文字ごほり鎌骨さ心心を驚稜は、懸人にめぐりあつたやうな臓動すら搏つのであつ楽でいへば、かうした影響で候奏がベンを織へ下ろす無

覚悟してゐる。

「ゆるとて下さらう。置者は、乞ふ、現代生活の朝春に居て、それを眺め絵へ。は、自分の能ぶど、出川自ら道有りの構造である。「人は、自分の能ぶど、山川自ら道有りの構造である。「人は、自分の気持がしないでもない。唉、自分を力づけるものに、 それは水洪三蔵の崎にも似て、漢々の山は盤を果して飲の逐歩を以て「親鸞」の何處までが皆

求する方針である 貿易常態

要 がいかり全前キリシャ状態の他な がいかり全前キリシャ状態の他な がいかり全前キリシャ状態の他な の関係の観音がアテになられていは のでかり全前キリシャ状態の他な

のであつた。そして、いつか自分の腹に「親鸞」た書きたいといふ念願が横年の陰壁になつてゐたのである。 思ひは履くといふが、僕に今、その機會は奥へられたのだ。この中畿に飛さً魏繁及び其時代に願する書籍の塵が、字に埋きれて、過去十駄年の暗誦を再徴しつゝ、今に、この中畿に飛さً数繁皮が其時代に願する書籍の塵がと、字にないない。 願の大行者の生涯か、興味そのものであり、湯宝そのも力易行の大法城を築かしたまでの優に「親鸞」を書きまり打きまり、 まりなき虚衰の世相や、义、一貴公子の身をもつて、他をこほして聯く聖人のここばや、郷平軍闘時代の添輕値ふ一粒の胚子がこぼれてゐたらしい。数美貌や教行信證ふ一粒の匠がらこもなく、僕の心の土壌に「影覧」さい

▲|関島良一氏(會計檢査院副検査 |本調作氏(憲陽地方事務所長) |本調作氏(憲陽地方事務所長) 区組六十六名 二十日二 除乗組士官奉天撫順視察 古氏(鹿島組取締役)同

▲松澤光茂氏(滿洲國々務院總務 ●日下清輝氏(常日商工會議所理 事)同上常日〈 事)同上常日〈 事)同上常日〈 事)同上常日〈 本日下清輝氏(常日商工會議所理 事)同上常日〈 本日本語(本日本語(本日本語(本日本語) 本日本語) 本日本語(本日本語) 本日本語) 本日本語(本日本語) 本日本語 本日本語(本日本語) 本日本語 接続野越倉を開催するさ 接続野越倉を開催するさ 定したが、司令部復職会に

•"

ブ遠心

清

輕

製油工場 • 秋田縣由利郡平澤町營業 所 • 東京 • 札幌 • 小倉 • 神戸 伊東洋行大連市龍田町八三

獨逸製 國産G・T・C 印オイルダツグ及グレダツグ アチェソン・オイルダツグ及グレダツグ※ 國 製・オイルダツグ及グレダツグ純國産 G・T・C 印 潤滑油 及 グリース ・ イラード 滿洲代理店 逸製 大阪市 ク スチ

塗

料

ルケ 塗ス.ツ

機才

料テ

種ンル

諸官署、 電氣、 電鐵會社指定品

無敵海軍實現 一 クラウン萬年筆發賣元 内外文房具卸商 强く 大好評の 値の廉い 錆び T ず

書き

界

源太郎商

北區樋上町

全國各地一流の金物、 機械店にて販資 湯淺製 主なき北支の平常化工作はすべて 中九日飛行機で、六ケ月ぶりで北 ・ 大田ではすべて

の事職には、融軽添数にして散緩を表の月、黄氏が脂肪通卑緊突緊

を を を が として が が を に、 黄野氏が 必要を を に、 大野氏が の が が の おもの あり、 加ふ の ため の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。

を しかし責任なき一部策が屋の反野 地位にあるものさしては、北支間の

何もろ通車問題は満洲事變後始なものがあつた。

特に取立て批評するほごでな 些々たる比喩上の談片であつて

単はれてるたのであるが、この黄氏 は北支で行はれること、なり、北 東の平常化は先づ支那嶋紫事者自 まのうちに一歩を進めたこと、なり、北 つた講である。

あつたやうだ

て、南京に起いた黄い氏の総験でして、南京に起いた黄いないあるさいふ

もつこさになり、英代山に引 職の をうしなく、かくして黄郷氏は、 の配子の上においても、将來の貨 においても、将來の貨 をして後について少からす不安か においても、将來の貨

價値如何に依つて決定する。

の性命の長短は言語自體の同化

る當初は流行からだが、そ

歸任する迄の事情と

今後北支の日支關係

の際職能定までもが、これに従つ り、支那側の最も快よからざる弾 り、支那側の最も快よからざる弾

四面消費くなり

クその

数音の有する特長や

があるだらう、十分視察したか を率直に質択を傳へて世界の平 については自分は何も判らね、 については自分は何も判らね、 については自分は何も判らね、 で交換費がかよりあるまい、却つ て交際費がかよて損かられて居るもの な求めることもあるまい、却つ で交際費がかよて損かられない。 いれ、満洲関軍隊も今では全く いれ、満洲國軍隊も今では全く いれ、高洲國軍隊も今では全く いれて際といることもあるまい、却つ で交際費がかよりあるまい、却つ で交際費がかよりあるまい、却つ でで居る、治安もやがて確立さ

東京とたが、新京電話)全国中等機校長園 東とたが、新京電話)全国中等機校長園 学科後市内見學を行ひ、二十日は 年前八時より新京職職、南郷職職 年前八時より新京職職、南郷職職に 年前八時より新京職職、南郷職職に 大郎氏一行百二十餘名は十 一年前八時より新京職職、南郷職職に 本前八時より新京職職、南郷職職に 大郎氏一行百二十餘名は十

外風心酔、國粹忘却なご臆斷す群衆心理亦然りて、これを以て

マその他の歐米語に現は

るのは當を得ない。況んやきう

・ 一 機関を設備するの件 ・ 一、満洲岡に登展せんさする中等 ・ 一、満洲岡に登展せんさする中等

教育上日前親善を増進すべ

電源館で目下アメリカは義熱下に に信用ある融人から聞んれていた 電源 (1) この仲介は神戸総在アメリカ 生等の株 ――芝生があれば大量値 が放き課の秋山課長の許に繋込ん ツドくろうばー、ゴルフリンクジ で、この仲介は神戸総在アメリカ 生等の株 ――芝生があれば大量値 が放き課の秋山課長の許に繋込ん ツドくろうばー、ゴルフリンクジ でし、ホワイトくろうばー、レ でし、ホワイトくろうばー、レ でし、ホワイトくろうばー、レ でし、ホワイトくろうばー、レ でし、ホワイトくろうばー、レ でし、ホワイトくろうばー、レ でし、ホワイトくろうばー、レ

一般市民多數の來觀

を歡迎す

市役

海友分會、

海協支部

歡迎相

撲大

會

リカは炭熱下に に信用ある融人から買入れたいさ 生等の味 ――芝生があれば大量的に に信用ある融人から買入れたいさ

る他の方面に排外保守の氣を

幼年者の間に使用され、長ず

黄郛氏遂に歸る

由來外語の流通はその動機

大使は二十日午後一時過安内地へ時間で記者という。

中等校長

臨時總會

新京で開く

まぐさ』飢饉

アメリカのS・〇・S

けふ午後

時より

で電園下で

"大量、注文の急電着

よび北支を視察中だつた際腰尾米

も離満出来るのが嬉しい

たて、國民固有の名詞を輕視す 大なる位置を有する親子關係に 大なる位置を有する親子關係に

思ふにこの種外語の常用を非

承認、に執着無用

更に會議を緘黙した

中等校長一行

、滿洲は想像以上發展した。

齋藤大使離滿談

さの意見からであらう。勿論必

のみならず、却つて識者の竊笑 目的さする趣旨な貫徹させ難い 目のさする趣旨な貫徹させ難い

社

說

青こ夏後する社會運動さそれな。 考察すべきだ。例へば屢々勞資

瞬の郢曲衛風の如きも、

に對する人心の注意な、 轄向さすべき對蹠の創作によ

その間相

ある。又傳來の良風美俗で稱せ

ら外來者の罪さのみ見録き點が

の弊はより強き思想を納育する 然現象なのが少なくない。 思想 が必ないない。 思想 が必ない。 思想 が必ない。 思想 の数のが必ない。 思想 の数のが必ない。 思想

て行ふに難き注文のやうだが、

傳播さすのが好い。言ひ易くし

こさに依つて、流行の弊はそれ

形式で糊塗されて居るこさが多

針中には、如何にも上ツ調子の今の思想菩導論や、國民教育方

此の弊風な傳播さず

軌道に揚がる凱歌

外國人來滿數

奉天新京間云出開通

に於て、簡潔安易な一方法ださ鑑取する時弊な矯正せんさする

へいこさはない。併しかう

て國民同化の唯一基礎さなも居新植民國なざ、言語の統制な以

は文教上の一大要件である

ること、なつた、即ち滿碗線の馥 で鑑遊都では二十六日の骸纏附通 | 々に総介するべく鑑耀の耽遊を進 | にて出登新京に向ふ筈 こと、なり同日同城場に続いて | 一日から運転すること、なつたの | に東洋一の弾車を登崩を踏緩の人 電話業務視察のため二十一日はとことに溝郷本総の稜線 | 一を誇る減緩整特急弾車を十一月 | 腕(名)ないで、一日から運転すること、なつたの | に東洋一の弾車を登崩を踏緩の人 電話業務視察のため二十一日はとことに溝郷本総の稜線 | 一を誇る減緩整特を持つもの | し、複線完成の視覚式に特急弾車 | 中田氏北浦へ 中田電を監査部、請覚整着、覆立式を繋げる | であるが時あたかし溝郷では東洋 | 運転披露を飛げて燃大な設置金 | 中田氏北浦へ 中田電を設置部、請覚整着、覆立式を繋げる | であるが時あたかし溝郷では東洋 | 運転投露を飛げて燃大な設置金 | 中田氏北浦へ 中田電を設置部、請覚整着、覆立式を繋げる | であるが時あたかし溝郷では東洋 | 運転投露を飛げて燃大な設置金 | 中田氏北浦へ 中田電を設置部、請覚整着、覆立式を繋がるが明確を表面を認定した。 はやぶさのアジア 複線路上を驀進 一月末併合祝賀會

職二九、その他一○三職二九、その他一○三 日本旅行協會

関の形に活動してあるジャパンツ ウリストピュロー(野外館)で日本旅行機会(野内館)の二つは駅 でく同し東亞における一大旅行機 関の影響を見ることとなり、二十 ビュローと合同 新組織で出現

を解除し外國人に對してのみッウ目正式決定な見、廿一日には此の 日午後一時よりヤマト日午後一時よりヤマトー島同農事試験場長、成田地方課長、田中開東・小川市長、田中開東・小川市長、田中開東・小川市長、田中開東・小川市長、田中開東・小川市長、田中県東 の大連農會主催農業 農業技術員講習會講師 きのふヤマト

及び支那な観察は中の中壁で設 をは鑑州及山海鶥・一でカニー 名は鑑州及山海鶥・一でカニー 本は鑑州及山海鶥・一でカニー 四日午前五時五十七分澄州・東で で、大名で井、常野氏外五十五 で、大名で大名で、大名で大名で、満洲

物を聽く トホテルで

組合長、足立、同殖産主任、民政署

| 全回新陸な見た高級越際局施設部||全回新陸な見た高級地震をは二十日地震を見会な一回委員会は二十日地にあるが同日は施設を表現した。

三臂殿さな排しながら着々進行中日下全浦各地において匪賊の妨害 線は工費百十六萬圓延長四千九千圓、延長約三千粁、又市外電

ピン、チチハル間の線路吹集並料の工事を進めてゐる、なほハ

歡迎

出來高 百車 出來高 百車 出來高 五車 日 粕 一二四五 一二五〇 出來高 一萬枚 日 油 八八〇〇 八八五〇 出來高 二千箱 高 梁 出來不申

鈔 票 續 騰

社

があつた。松田文相の外語観も緊運動でふ形式を流行させた感 ま同された。 併しその中には が あつた。菽麥を問はずして附和 迎 歌香授

酸って丁ふから、 酸って丁ふから、 ないものだら

諸株保合

何さか便宜を計つて

後場市況四平町

◆水公は切手、私は貯金さ受付を でないのであって、これが悩 でい方へ駆倒することを原順さ しい方へ駆倒することを原順さ しい方へ駆倒することを原順さ しい方へ駆倒することを原順さ

動務してぬるだけで、電信、電話を受付け、電信、電話を受付け、電話を受付け、電話を受付け、電信・電話を受けけ、対容を、電信手は送が居る、電信手は送が居る、電信手は送が 格表記、小包 格表記、小包 が表記、小包

◆これは受付子等の責任の帰趨を来ないものであらうか?

明中帝 は 展 先 限 一九二 一九四 一九二 一九四 一九四 一九四 一九四

が蔵である。 る順客に野

でして以上事務吹替の一端に加 に相談かも知れないが、そこは では表情者において「出來る相談」 では、本語のでは、一端に加 では、本語の一端に加

生及び農民の途の二種目に関して 生及び農民の途の二種目に関して 生及び農民の途の二種目に関して まるでは、大いで山崎氏起ち農村自力更

が、満洲に於ける邦人島繁者の総 が、満洲に於ける邦人島繁者の総 時間會した 度市外電話線 電々會社本年

大豆保合

市外電話線の境架並に改築工事は電々會社の本年度における電信を 增架工事進步

三月 10至 1 三月 10至 1

艦隊

冬

0

一端つて來

せることになったものである。

して黄郛氏は北平に

麻袋弱保合

西

って、直に日支鵬館の好戦さみるうであるから、黄郛氏の節低から 野日方針なるものは所謂。/ 一蔵突。 らうが、南京政府珠に蔣介石氏の らうが、南京政府珠に蔣介石氏の



一両でして賞怪者の明答がなかの東公園町郵便所の窓口が、時々 分室マ がからてゐるだけで 動物してゐるだけで

を戦みに、満郷本社その他を目の 前にする脈體ビジネスセンター 順に於て東公園町郵便所が今も 場に於て東公園町郵便所が今も 窓口に経動(?)す 競称時間中な平均す 一日の事物:

本産林の國際進出は見ものであるなに乗して應じられるかごうか日本の魅力に注 事になった、合同後の数 地に呼びかけ旅行道徳の 地に呼びかけ旅行道徳の 地に呼びかけ旅行道徳の リストピュロー館名で

※ 「新京電話」 「湖州國の治安恢復し 電響の整備登成に伴ひ各國より湖 では、「東京電話」 「湖州國の治安恢復し 人は男女合計一千百九十七名で七人は男女合計一千百九十七名で七 を来る十一月から他们 に要に悪進すべく無いか会社の イツ等の例に飲い会社の イツ等の例に飲い会社の

名の増加を見せてゐる、國籍別左月の一千七名に比較すれば百九十

日本毛布代理店 小松加强堂貿易部 大連市大正緬十四 電話9521、9854番

山崎延吉氏に

トホテル一階 設備審議港築港

建設局委員會

MISHIMAYA 今秋冬の好まし

嶄新なそして素晴ら ます・・・是非御高覽の程を・・・ 新なそして素晴らしい柄が、生 色、愈々スマートな服裝のシー い柄はチ 生地が店内に山積して御座

脊廣三ツ揃 既製三ツ揃・・・ 00,00 四0、00

-1110,00 四川(00

メンに入りました。 トブラウンそして濃いネズ יי

無税港の大連で は (順はるい) 森田時計后

舶
ま
時
計 近 店理代認洲蕭 四五通縣山市連太 榮



大連共立洋服 **洋服工**

各小中學校 陸海軍·諸官衙 専門店で 今回新たに陸海軍服を始めました 迎聯合艦隊入港 洋菓子 大連市西公園町四七番(電四三五四番) の服は 通山大市連大

洋酒と

溪

湖 防

空 演

習

商工會議所を顕瀬之山藤

伸びる開發の觸毛

質本の安東よりの逃避止の結果最も恐れるの

無理免れず

敷へられる不安の敷々

瀬之口會頭は語る

旬

關係方面はか ないます。 は、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 ない

・男子 もカノの乗取引に重要な位置を占めてゐる鍼革銀は九月一杯を以て廐止さるゝ事となり取引に対ける上場と來る廿八日を最後とするに強つた、安東の主要輸出品にる棒燃糸、大豆、豆油、木所における上場と來る廿八日を最後とするに強つた、安東の主要輸出品にる棒燃糸、大豆、豆油、木所における上場と來る廿八日を最後とするに強つた。安東の主要輸出品にる棒燃糸、大豆、豆油、木所におけるこの得る程の期間とか置かすに電施する事は産業を成の取引を行び市中の商取引には鏡平銀本ないと云ひ得る程の期間とか置かすに電施する事は産業を成に新しき打撃を乗へるのではないとか危惧されてゐたが製者の観察は樂観多く滿洲幣緑統一上むしろ悦ぶへしさして居るか危惧されてゐたが製者の観察は樂観多く滿洲幣緑統一上むしろ悦ぶへしさして居る 【安東』滿洲人の商取引に重要な位置を占めてゐる。

多少影響 魯正前の二月頃か

令にしたがつて國幣に振替へる 取引先へ九月三十日限組金は布 京選野業銀行より一齊に各 自 滿銀高橋支店長談

羅津都計成る

家屋移轉料は未決定

に一般市政の豫行政が

八を目標に

取引所では

高橋理事長談

不安なし

明要旨左の如し

然も満洲國も四五年先には金本「て近日甲特別委員會を組織して此」て利用される地域は海峡より八十加を來すものさ鎌想して居る。 ない、邑會に諮問とた後本府に於「三二二〇萬坪で共の內市街地としたが國幣姓によつて今度は金對「藍原家であつて決定したものでは、人口とした、此の八ケ浦の配確はたが國幣姓によつて今度は金對「藍原家であつて決定したものでは、人口とした、此の八ケ浦の配確は、不則類似六割方の減少を來し「本日婆表したものは羅津市街地話」除く八ケ浦で卅年後の人口を目標、四月の嶝止に関する發令によっ 市街地區域は螺柱制を

明年豫定は千三百粁

五萬人の『一五萬人の『一年の緑三郎は鑑路画郷版はまた殿匠し、 一般の緑三郎は鑑路にゅり、 一番の泉上の歌画郷版はまた殿匠し

市「に諮問する事項は一二、無城内の道路網 表されるであらう、今回維治員會認定したものは多分本年中には登 ○萬塚である、何分にも無いのである。何分にも無いのであるから京城より は電車登路

「質を殺し

た匪賊

苦力に化けて潜伏

22(土) 23(日) 24(月)

風等市民の保健衛生、經濟關係

人を殺害、そ知らの御十 頭のお手柄を立てたが名を大核闘の上一郷刊 州平に監禁再三吨贈金鉱を以て脅迫人覧さし の構内匪賊膝ぎ外除罪多數の見込

は三名戦死と十二名のは三名戦死と十二名の

一般の 大成功動に終了した 大成功動に終了した 大成功動に終了した 大成功動に終了した

大災鏡火せりこの報告を競後こし

以外の敵機海龍上ない。

三日衛院職権総当で駅行される事 は野報の通りなるが際日の呼続さ は野報の通りなるが際日の呼続さ して聯続されてゐる姶殿は十五日 を見から第二次

各團體趣向をこらす

營口市民運動會

當日の餘興決定

各

地

(3-62)

【泰天】奉天國道邀聽處では着々 | 除飯、古北口間も完成、海城、大 | 道建設處本年度における繁監察に於ける山城鎮、柳沙、道仏間も | たが、飛飯より多倫間の二本の粋 道の趣時閉通により地方牽製階級に於ける山城鎮、柳沙、道仏間も | たが、飛飯より多倫間の二本の粋 道の趣時閉通により地方牽製階級に於ける山城鎮、柳沙、道仏間も | たが、飛飯より多倫間の二本の粋 道の趣時閉通により地方牽製階級に於ける山城鎮、柳沙、道仏間も | たが、飛飯より多倫間の二本の粋 道の趣時閉通により地方牽製階級に放しまりの引艇事製であるが、申 孤山間と賦に軸皺送の竣工を見、 見るこ一千五百餘料、明年座竣工。 | 見るこ一千五百餘料、明年座竣工。 | 最近地域、大 道建設處本年度における竣工線を 敵機、匪賊 本溪湖防空演習終る の猛襲下 街出現

寒こて市民を恐怖の極點に至ら 第四、第五彈は太子河緩慢を破 に同様火災を、矢艦さ早やなる 第三彈は焼緩公司構内、敷島町

電本深湖」 満洲事態三周年の意義 して電標に跳練に凡ゆる努力を傾 して電標に跳練に凡ゆる努力を傾 して電標に跳練に凡ゆる努力を傾

齊 に各配品に着き敵機

市は全くの戦時恐怖の街との爆音は四嵐の山々に谺じの場合は四嵐の山々に谺じ

恐怖の突襲撃さるのみであった戦闘の突撃撃さるあり全市民は 一 混疵に乗じて潜入せる軍戦を警備 こて 酸機選却とて空よりの

するなく管制に服しさかなく管制を布く、既に豫

選、人質は何れも無事報還した とたので態見載に同村自磐感に急報 したので態見載に同村自磐感に急報 したので態見載に同村自磐感に急報 は、人質さなつて連行されてゐる所を通

海烧鍋、市中 八幡勝つ 對奉天實業

管住宅地鎮祭

十八日禱織道場で 十二日午後五時よりクロストラー 社員俱樂部主催 待 二十二日午後六時概關長會田常夫氏日滿 今天道場にて 二十三

•內容見本進呈 ◆

5(土) 6(日) 7(月)

東邊道調查除

十五日目に

八質滿人救はる

嬉しさの餘り呆然……

一、昭和製鋼所製鋼計畫の大要製鐵部長工棟模模常三郎 一、昭和製鋼所の石炭副産物の利用。計畫係主任大野二夫 一、閉會の計 満級中央試験所工 棟佐藤正典 第二日(三十一日湯岡子彦) 全観察一選陽満洲紡績會社、雙茂 所の鑛山 採鑛部長 電空車」東湾道は今で資源伏藏地でより資源局においても五百族頭甲佐を膨起に護衛兵共終三十名の一佐を膨起に護衛兵共終三十名の一佐を膨起に護衛兵共終三十名の一佐を膨起に護衛兵共終三十名の一佐を防止が開発が大平町である。標に 返す確定である 貧民收容所 奉天に設立か

に申請中であるが近く賞班の概念 に申請中であるが近く賞班の概念 である 『奉天』市政公署では一般市民教 派のため資金の駐出しな行つてゐ ることは駆戦の通りであるが、今

> 讀本辭書 語

英語學習力

雑調マイ・フレ 英習字 原色繪カー 習帳

英語歐解答集英語受驗講座

国 一册

毎月

は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は

ABCの讀方か

世中

した機性を排ふこさ、なるで ・地主は其の少ない受益に比 比例とた犠牲を排び受益の少 ・ののかい地主は受益 なの家屋砂戦物の間 工費の貨幣は激表前 後の地質さな接配し

が遅れ十月いつばいに竣工する康 定であるがバスは飯路穂局が經營 し銀日双方より四両野車、運飲さ 情ほ未定だが多分三国ぐらゐの見

すこさは今後節然まかりならね。 女歌生の髪にコテたあて、ちちら

炭都を護る

端港さして常なる貨物技師は力を籠めて行く

厚さなつて來

高、滿洲侧來賓稅訓、軍族に對心 官稅訓、数官稅訓、日本側來賓稅 官稅訓、與官稅訓、日本側來賓稅 莊厳に攀行された 一般心、軍旗奉安所に移るの順序で 一般心、軍旗奉安所に移るの順序で 營口でも擧式

【製出】化製工業常満州支部総合 は三十、三十一種日間総由において味鑑さる、ここに決定、常日は大連、索天、無腕外交満各地より が十名のエキスパートが来鞍、左 の通り講演と観察を行ふさ 。第一日(三十日午前八時) 会視各一大孤山採礦所、選鑛工場 銀所各工場、小野田セメント鞍

『年後三時より一般市 | 藍是棘論摔職、泰答交職職、分辨 | 鶴市衝撃内旅警等に奉鋭された| 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 10

の辭 昭和製鯛所研究所 (午後五時迎賓館)

一、開會の辭 昭和聚鯛所研究所長小柳津正蔵 - スルミニユーム電解聚造法に - スルミニューム電解聚造法に - スプルミニューム電解聚造法に - スプレミニューム電解聚造法に

(雨天順延)

ので同職器の参照では は痛みの部分が紅味を帯びて来た は痛みの部分が紅味を帯びて来た 開をした虚、患部より三八式小銃。

北省生れ郷景喜へりは一ヶ月 古傷から飛出す

股から小銃彈

はさうで大車輪の猛練者、定めしても地向を搬して概要をアツで言

化學工業會滿

洲支部總會

研

究

トなりは下総念戦備中。 國盛地際に百三十八萬曜の土地を満洲國民政部では山海關の滿支

新京吉林間

選な。

據る立賭博の胴元は銃殺、賭博者に比勝は極利條側を出した。それに

學費は低廉無比

講義は懇切明快

ツを照な休止して換物にかいらう

な工事を發生する気めに、

殿智だの、デフテリーだの、難かいつたやうですし、寒ささ共

水ぶくれなつぶして、内部の汁を

さらい腹が出来てるますからヒンさらい腹が出来てるますからヒン

換羽地

のです。品種の良い難もポツボーづかず、珍職は死職し、難は樂々つては郷あ一番配金はシーズン な瓦斯を養生する為めに、蚊は近っては郷あ一番配金はシーズン な瓦斯を養生する為めに、蚊は近の球では、一般のでは、 一です。 破験ニコチンを止り木

養鷄家の

萩の花咲きみだる

痩せる秋

鷄の病氣いろり

リ、咳なしたり、ひごくなるさだがないにしてやること、未だ常分となり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやうなものをかけるなり、麻然のやっなり、麻然のできている。

病態が出たら避先に慢素な動を他とない意楽力をもつてぬますから と強い意楽力をもつてぬますから という は かんしょう は いんしょう は いんしょう は いんしょう は いんしょう は いんしょう は いんしょう は いんしょう いんしょう は いんしょう いんしょう は いんしょく いんしょ いんしょく いんしょく いんしょく いんしょ いんしょく いんしょく いんしょく いんしょく いんしょく いんしょく いんしょく いんしょ いんしょ いんしょく いん

これは荷見水繁なして島鍋にでもして振りますから直ぐわかります

ではる秋の病気いろく

問題の實驗を行つて

朝食(赤味噌、煮干粉、

省禁養研究所で移本好一博士

夕食に牛肉のすきや

物を食べ に差支

がださいふ成織が出ました。即ち同 一般ない。 が完によりますさい較的に高値な 朝食 に馬鈴薯の胡麻味噌 村(馬鈴薯、赤味噌 はおろし和((しらす干、大根) 及び焼のり

全食 総ご野菜の素付(目りませんでさし鰤、油揚、干瓢、里芋、大石、たこので、 はは三馬鈴薯の炒しての整った。 はは三馬鈴薯の炒しての整った。 おいます は、煮干粉、大豆、醬油、煮干粉、大豆、酱油、煮干粉、大豆、酱油、煮干粉、大豆、酱油、煮干粉、大豆、酱油、煮干粉、大豆、酱油、煮干粉、大豆、酱油、煮干粉、大豆、酱油、煮干粉、大豆、酱油、白豆、

高い物崇拜論消飛ぶ ー、後程は七六六カロリーですが をて問題はこれが如何に身機に利 ルギを總等素、含水炭素、粗脆肪 ルギを總等素、含水炭素、粗脆肪 の利用率を破発し、それと總 の利用率を破発し、それと總 て、たさひ 質)と組灰分では常に高價なものかつたのです。即ち總壁素(蛋白 るが、粗脂肪では概じてこれと反

艦隊將士の

現在の論壇に缺

那常に多い。日本の場合、の一般雑誌には、この種の一般雑誌には、この種の

いかわけであらう

義太郎

壇

たかつたさいふ感じはする。し

ろ雑誌のどこな開けてもころがし、なかし、おもしろい。この

今月の「歌遊」には、軽井町氏の「人間の不平等」をいふ記文がの「人間の不平等」をいふ記文がでいる。人間には、映型や内が跳などの内臓や血液やによっている~ の根塗のあることを述べたものである。配単な説明で、

レコードー枚でこの最品常

脚間中は市内各婦人際それよ~そ ここがあつた。 間壁はエジプトので豪菜の機様をいたしてあまずが | 思ふが――の間に窳魃が突された徐所を設け十八日より二十四日ま | 部四郎太――たぶんさうだつたこ

1 記憶する、双方何味か書き、なか変鑑かさいふやうな事様につたさ 交鑑かさいふやうな事様につたさ

るても、 専門が自然特勢 上ぐちるの年歌では、大

情に深い知識をもつやう

、自然科学の各方面

日ごろ鍛へ

腕を脚を

大連各學校の樂しい

秋の運動會近づく

一おまりに子供の、常時の便にすら を変から直に推すさいふわけでは にないけれざ、各方配うでき

語 東雲から直に推すさいふわけでは に ないけれざ、各方酸の製職の問題 の人々にもおもしろいものが深山 の人々にもおもしろいものが深山 あるさ思ふ。 製は「吹造」や「中 と公論」なざが、この餓蝎をもつ 美術於問 こ、自然科學の方面のものが 後は清鮮になるこさだらう。 を作りそ を作りる 題作為

座談會大術の秋の 中川紀元氏を

た捨て、野逸獨善なる言葉的権脳を以て知られた中川

家かもだか家

振替名古屋一八二五九番

午後七時より會費六十錢見當、な 會室、期日九月二十一日(金曜日) 美術の秋の座談會な催了事さなつ

家傳

日本 の病日本特有の天然性植物の

しかし、人間に自然的な不平等 のあるといふのは、ひとつの重要 である。これを明かにする ことは沈して無意味でない。同じ ですに、一般の人々のはつきり知 橋の

優良國產

本來人間は不平等なものだから、はどのくらぬいゝかしれない。この論文で、このやうにないが、この論文で、このやうにないので、このやうにないのでは、はどのくらぬいゝかしれない。 会解のもので、自然解な人間の不 ういふ理窟はもちろん間遊びであ ういふ理窟はもちろん間遊びであ はいるのは社 平等できらいふものは夢山あるの 平等ななくさうさいふのではない 一の空標にすぎないさいふこさないはゆる平等論なんていふものは これかなくさうさいふだけ

酒 店理代劑漢

流洲日

醫亨博士

加藤 病 踪 大連市三河町四 置話 6297署

鍼灸術專門

八院隨時

八一日分の内容を

要はその配合よろしきを得る事

金額、醬油きんさん(際元豆の煮、鯛肉、馬鈴萼、

た見きすさ、腕者の間に大差ほあれた總統就に換算して其の利用率 しその祭養を取物、殊に最も聴覚さ合の方法がよろしければ、必ずし たっこれによりま

関に我が職合艦隊等組員將士の接

二十二日です 滿日婦人團は

大町村月のやつてゐた「學生」

日婦人感は二十二日が常番に陰つ

電 22233 電 22)44 電 2500

の若い人達は遙かに多く

雑誌も態度をあら

のやうな事質を明かにす

事さして徐黙されてゐますが、大 ら起ったり、鞭たりする燃みはなす。子供が待つばかりでなく保護 ふこさになりました、今年は一般から秋のたのしい行 に時期を撃めたので、ふるへなが、本ことになりました、今年は一般がある。 連続のシーズンさして経好の悪いな 連定で日ころ総織の腕を離かふる 用品廉質館)は既報の通り來る二大連友の倉宅館の友愛セール(不 友愛セー 廿六、七兩日

だれた大類のボロは鍵点して頂き に財扱ひきすが、質報品とひざく は財扱ひきすが、質報品とひざく 一般出版希望春は二十二日までに 一般出版希望春は二十二日までに 便宜視音町四八荒郷ます子(電話 民子、鄞町三九岩山稚子ぞまで出 民子、鄞町三九岩山稚子ぞまで出 民子、鄞町三九岩山稚子ぞまで出 質値の一割な手数料さして友の會 でて開催の豫定ですが、会員外の十六、七の帰日、沙河口霞町クラ

テニスコ

こて振りますから直ぐわかります一時間を短くと何を除分に食べさせく無軽系統と言されて頭を傾向に「は響き内に電燈をつけて鶏の鴨酸白い腰がなく、蟹鰯するさ間もな」に転次した方が標です。その方法 を さいてす。二十秒まで位の小線ですが、都合により日婆時から 夜の十時頃まで、戴は午前三時頃 から夜明けまで、「大田・一方で明けまで、「大田・一方で明けまで、「大田・一方で明けまで、「大田・一方で明けまで、「大田・一方で明けまで、「大田・一方で明までも歌みです。」によって、「大田・一方で明までも歌みでいか、大田・一方では、「田・一方では、「田・一では、「田・一方では、「田・一方では、「田・一方では、「田・一方では、「田・一方では、「田・一方では、「田・一方では、「田・一方では、「田・一では、「田・



三人同行

内状態なれば、これもくだらな をがも大時代なり、きりとて、 カフエーなどの女給は、カフエ ーにある時だけの酸白さ。所職 のなれば、これもくだらな

つひに待

ですてにせばやさ、待てごで、三人三部屋に搬められ やれやれあそびは素人に腹 があるがは素人に腹

なに動れし三人づれあり。 がしれば、焼よく解いてくれさかくれば、焼よく解いてくれさかくれば、焼よく解いてくれさから、悪なかとはながら、悪なかとははできるというなりまで

安くすくすご笑ひて、いいえ、 、選いぢやないかごいへば、 なくすくすご笑ひて、いいえ、 でで、送り出されし三人そろひ でて、送り出されし三人そろひ でて、どうかお氣をつけなすつ でて、どうかお氣をつけなすつ て認かな眼玉をしばりし ムザンや襲日の高々

9小中4 年型型 用水水 45

餰特毒

タログ無代進品 1週半ョリ 文

賣

ラブ クリップ

新時代の表象は流線型 ¥2.50 以上(意匠登錄出額中) 發

市変を活動した。 ・海(九月五日號)数行所東京市京 ・海(九月五日號)数行所東京市 ・海(九月五日號)数行所東京 ・海(九月五日號)数行所東京

府、價三十錢

(東京平野區大和町四十二其社、一年東京平野區大和町四十二其社、一日東京で俳人たち」朝木安之助氏に求めた俳人たち」朝木安之助氏に求めた俳人たち」朝木安之助氏に求めた俳人たち」朝木安之助氏に求めた様と、

±-34>* **注**

垢を落すだけなら化粧石鹸で澤山

汁モやニキビ……

吹出物を治したり

小型新發

御旅行用に 御携帯用に



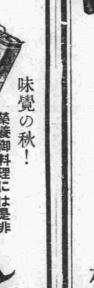












械工具店 連 榮 M 大 元商

各

寸法

在

店

瑞穂電氣ドリ 瑞穗機械製作所 滿洲總代 理

消化器慢性病

西公園田春日小学校前 電話六五六五 件 **监**谷 創 榮 肺門淋巴腺炎及费高不良呼吸器及消化器慢性病 X線完備 入院隨時

医学博士

肺尖: 血壓及婦人內 肋膜及慢性諸病

腎臟

報(廣告部)電話三六九五番 加藤清一郎 (日曜金)

幸权

日

MY

洞

二月

兀 年

九 和

機一堅指切棋戰員 塚勘

口繪數十頁

電ニニロ六〇番 共進

(入送五篇)

(A)



詩......佐伯孝夫



會

書 @ 第······· 等 龜 教 育 化·······鳩 中雄

蘇 峰 德富猪

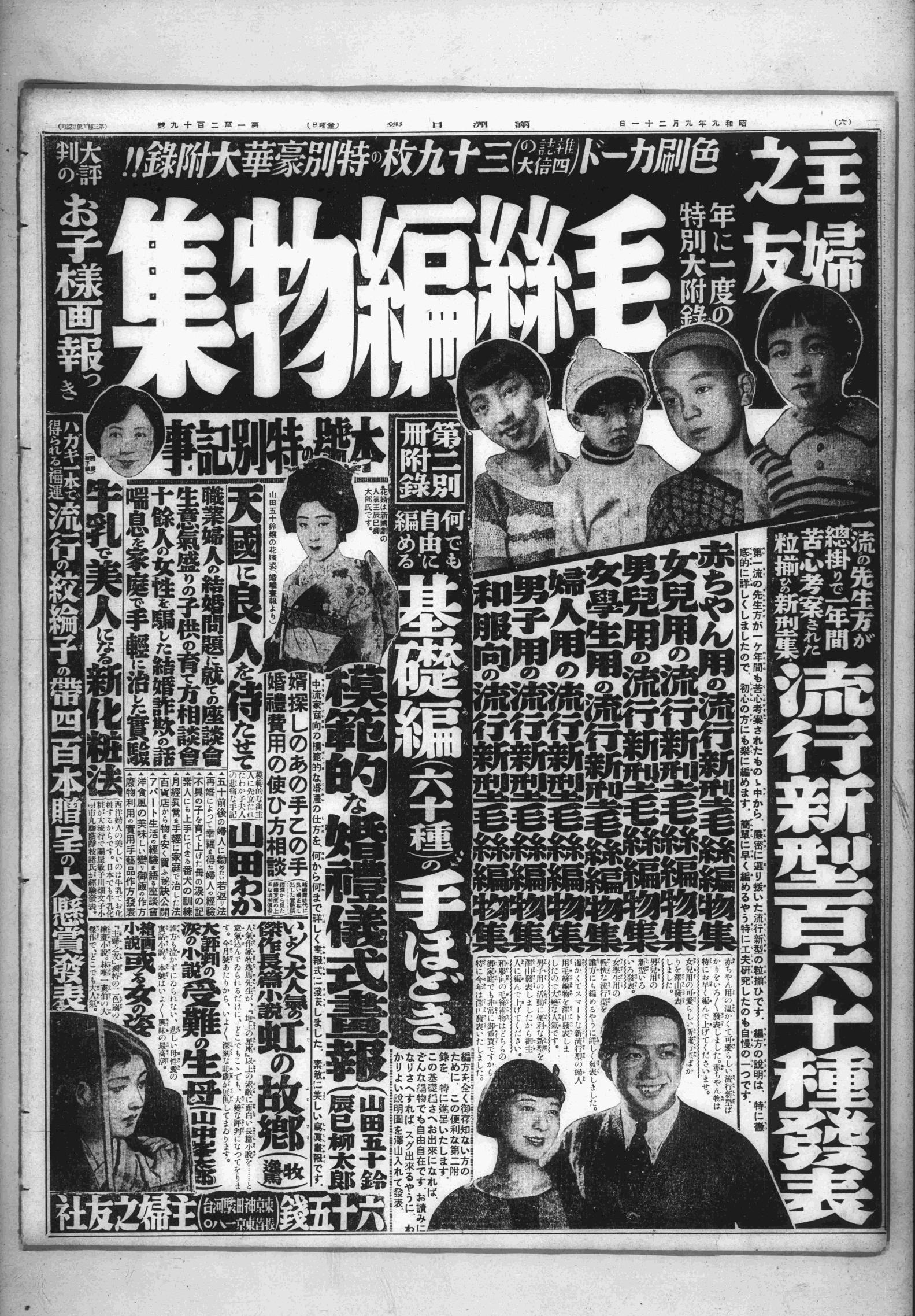
時 女 性 ^{要 生は遊ぶ} 山川 菊 榮



П

下の空秋バンナ人新





響のフェバー君の蛇かな態情投げー 野童がに越し、又ダン、アン 大工来ラインの附近に落下し、小 ダーソン剛君の魍魎はこれまた四 駐連米岡飯事及び山西満洲熊脇館 など、オの鰹がし、大 大力を造かに越し、又ダン、アン て主変・剛園選手四十餘名及び院置 連定 では、大 大力を造かに越し、又ダン、アン で主変・剛園選手四十餘名及び院置 連定 では、大 大力を造かに越し、又ダン、アン で主変・一般に大 と、日瀬、山岡・一般名及び院置 連定 では、大 と、日本、山岡・一般名及び院置 連定 では、大 と、日本、山岡・一般名及び院置 連定 では、大 と、日本、山岡・一般名及び院置 連定 では、大 と、日本、山岡・一般名及び院置 連定 では、大 ののフェバー君の一般ない。 には、大 ののフェバーカーには、大 ののフェバーカーには、大 のので、大 のので、 のので、

楊色の弾丸」メ

れば観衆の目は一聲にこ

れに對し日本側も沖田監督以

日米陸上選手

星ケ浦で盛大に擧行

P





日本選手も元氣旺盛 い練習振り

田大尉の指揮する三機は エカストの指揮する三機は

日の戦烈変、引行を対する変が戦ができる。 ではる小林海軍部は全能の探察に臨 の戦烈変、引行を対する変が戦ができる。 なるが、ないである。 ではる小林海軍部は全能の探察に臨 の戦烈変、引行と対する変が、ない。 ではおりる変が、ない。

軍樂隊演奏 二十二日・電氣遊園で



強盗は狂言

れるが常日の曲

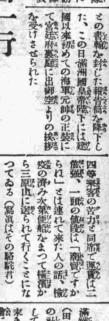
売は送局された

陸上選手歓迎の

今夕七時半より協和會館にて

硬式庭球大會

軟式野球大會 二十日の成績



末次提督一行

で同席で運搬は二 なる微観事件のみでなく後来工場を見合は特に微重を魅する筈で撃った。 ◇シン・雑志 グ・田田 ス・67

太田 68

、 戦闘行を期することになってゐる で公然の如く行はれてゐる軟脈事

(電八一〇

當地

軟造下疳病

醫中

一四四六電-五二前野



挨

育館集會室に於て 時中より協和會館に於て 間間集會室に於て 午後一時より

午後一時より電園下廣場角力…▼聯合艦隊歡迎相撲大會

へ城内の下駄融

0

上折角御利用の程伏而奉懇願候

要下駄を主急取寄せて貰へまい 安下駄を主急取寄せて貰へまい か」さ而も大量な決交。 総在以の事務所 繁輸出組合奉天 の程齢島駅滿

の態度が繰り熱心なので「る

原すすき―北村美智子機(ニ)新阿嬢(ロ)お蝶夫人―北村高子棚

太郎冠者北村

「よく満人が無来の警俗をはき 捨てたれ、安康なニッポン融品 おさ下駄融のELく「これこそ日 ふさ下駄融のELく「これこそ日 とは、安下版を一覧ごうする無いに下駄の流行が素晴らしい」とに下駄の流行が素晴らしい」といる。その理由は支那靴の最脱れる。その理由は支那靴の最脱れる。その理由は支那靴の最脱れる。とは一覧とするのだか

會質況(ハ)スポーツ、萬難鏡、糖異の少女 諸面(イ)漫画(ロ)日佛對抗競技大

安東市民會 感謝の慰問金 わが社の學に賛同して

百米の今井慶二選手一

及び

び大島の三選 ニ、四

日米兩選手の交購と

練習

彼岸中賣出し

で、本社は直にその手綱から を五十個を添へ本社を通じて 果、左肥の燃謝が間の書館に果、左肥の燃謝が間の書館にて協議の紹 教婦間金栗集に黙してこれなど東市民會は本社の記書総統 病床の村上氏に

幸他の内外人八名之共に暴さなが、 はなる解賊に拉致せらる、 となる御行動により一同無 を実選を得られたる報に接 事生選を得られたる報に接 事生選を得られたる報に接 事生選を得られたる報に接 事生選を得られたる報に接 事生選を得られたる報に接 事生選を得られたる報に接 事生選を得られたる報に接

お上候 敬具 ・早く御快癒の上邦家の為 ・日本の ・日本の

-2佐々田商會

彼岸だんご『神四久 富 お あんころ餅 はぎ

章

四ツ

四ツ

Ξ +

(角町野刮町勢伊達大 番二三二七話電

十二年 大連車 夫合宿所 ・ 大連市 大連市 大連市 大連市 大連市 八幡町 武春地 ・ 大連市 八幡町 武春地 ・ 大連市 八幡町 武春地 ・ 大連市 八幡町 武春地

8Yクラブ對HOM

特料 獨平

滅

理

無者が戦は他人であることを自由 無べてみると異せるかな同時に被 があやしいのでそのま、引致財 があやしいのでそのま、引致財 があやしいのでそのま、引致財 があないであると、 に被れてゐるが響。

へ切れない欲望から打つた芝居で た人子変太が椒に爽へたもので、 友人子変太が椒に爽へたもので、

滿鐵本社前の斷線

醜事實を爼上に

鐵道部の懲戒委員會

45)落 田合

艦川内附近で鯱中の現金七十四個市太郎氏は継ぎする単態構内の戦 市太郎氏は継ぎする単態構内の戦 ではない。 二十日午後

里子

移さず 同派出所から沙が 周派出所から沙が かっぱって はない 一個形ので時な

一圓五十錢 Ξ 番七七四三話電

河

名倉製作所執意議員

申込場所 東洛经莊內電話二一二十三日午後六時 於遼東本九月二十三日午後六時 於遼東本始外唯土官以上に劉心左祀に倭り動

始め権士官以上に對し左記に依り數理會開催教度候開奮つてを御出席線入港に際心。縣出身參謀長豐田少將閣下帝順海軍聯合艦縣出身參謀長豐田少將閣下帝順海軍聯合艦隊數迎會

大分縣人各位 大分縣人各位 キツネ顔分類

七圓三十錢 屋

品質絕對保證、返品返金自由

東京鮨 電二九四九二

一天張

拶

弊ホテルは明治四十四年十一月三日創業以來 り名古屋ホテル (新京本店) こして開業仕候間 に御聞濟被下全部其儘申受け愈九月十六日よ 館ごして經營中の處今般本社より御讓渡方特 御願し「滿洲屋旅館」こ改稱しヤマトホテル分 昭和三年十一月に至り都合上本社に御買上を り格別の御愛顧御引立に預り候段奉深謝候 滿鐵會社の助成旅館ごして經營仕り 哈爾濱支店、 吉林各支店共同樣倍舊の御引立 皆々様よ

六

名古屋ホテル

店

(E)

華編隊機新京に

無邪氣な唄と舞踊で

で御耐火で名高い三原山に買は

マーナルド・ペン・スユーテン氏 満線副總裁 八田 裏明氏 満線副總裁 八田 裏明氏 満線副總裁 八田 裏明氏 で一ナルド・ペン・スユーテン氏 満線副總裁 八田 裏明氏 でコン・マギー氏 ジョン・マギー氏 ション・マギー氏 フィーム監督 沖田 芳夫氏 主将 渡田 常盛氏

駱駝君來連 三原山行きの

歓迎の辞 敬い

本社主幹 綱野 繁勝氏

大連市長 小川順之助氏大連民政署長 御影池辰雄氏

吹奏樂

々歌吹奏 _

プログラム

兩國選手紹介

花東贈呈

第二部

女學生の水兵さん歡迎

校内の講堂で

で大連の鳥羽洋行に依頼 りしい人気を得たので更

◇場内整理費と

主

後

體育協

『脚和な舞踊に吹ぎ朦峨、洋紫電楽など、生徒観代の 可愛い 挨拶があつた後、

車〇〇機を先頭にあざやかに着陸!

かくて三時三十五分新京南方鑑天彩は新京飛行場に人の山を築いた

置代主演

(日曜金) 言はれる程さて、その投は種でに対機は忠懈の登身にそゝがれた 一直した。左 たの参れ」 左司馬も正常 古郎右衛門は一生懸命ジリー

か合つてあたが、忠徽は是程の者: 昨たねまでも鬼様に飛を漉させて

では、100mmのでは、100mmでは、

古着「御報多上

薬布 関の専門は

辨天堂

Torigonopin 東京(三十球 一圓五十錢 東京(三十球 一圓五十錢 東京(三十球 一圓五十錢 東京 八三六二番 東語 八三六二番

郎

門恨

へ出たは、四十一二になる色の白 ます。佐分利流の檜術を師正雪に「揺者事は加藤市郎右衛門と申し

學土福原正義先生創設

前田整骨

若狹町

sat.

電話三七八九番 電話三七八九番

幸役

皮屬病

日

防に絶對權威

揃品ツク用寒防 病 門雪 **済生医院** 本語 七八六七 院長 鳴尾 直人

沙州

洞河

新 神戸市山本通五部訪神社島居的本部 和歌山市公開館(三年版) 自春 東門 はいるが、 一回春 中間 はいるが、 一回春 中間 はいるが、 一回春 中間 はいるが、 一回春 東門 はいるが、 一回春 中間 はいるが、 一日 はいるが、 日 十ノ三中町和昭區吉住市阪大 本 **店商松芳下山**舗

大家 光風楽日本温・大変と選ればほこの国電 貸間 事務年用 習字 速成 貸

印書 邦文タイプライター 自転 地球タイプライターの印書 おびタイプライターの印 おおいたしまで | 医院・治療・名薬 | 六八二四番

坂 本醫院院 地方薬局直送

エピス町一六

松正山月 X 光線應用 は 全国 全国 には は 日本座敷大原間を開放、洋食には 関下ホールを仕出てに 依る御 には 関東他は 如何境にも 御相談申上げます

今井

院

人連紀伊里二七

一石炭、倉庫業 朝鮮火災海上保険會社代湖店 旅順 矢 幡 雨 會 電話三一番 電話三一番 店案內 眼

香

連家畜醫院 東二 〇四七番

三中停近 丘堂一月格安分譲致

一円五〇 三百錠

女中

五電話六六六三大連案内吐力を輸送を表別は多数株式現物店を開発します。
一大帝等に制設します。
一大帝等に制設します。
一大帝等に制設します。
一大帝等に制設します。
一大帝等に制設します。
一大帝等に制設します。

二月九年九

は、なられる

は思へねったの手の内より水が掘りことをき落さうさしたが、 鬼織が しるやう。 九郎右衛門はそれを綿がして巻き落さうさしたが、 鬼織が

の扇を突いたの場所は七八間飛んで行ったが、バラリご館を投げて、たが、バラリご館を投げて、「夢つた」

はく失いたした。まただ。丸橋はニッコリ笑い。

女給

連鎖街ミスダイレン数名募集

貸衣 裳 婚禮用

和服

牛乳

御手鄉

ニング商會

四四九一番

藏甚子金 士博學医 一六六七電+八七厘而連大 常 • 间中通車電場広西橋刀扑橋

 (Λ)

悟道軒圓玉

演 畵

路

雪

(37)

忠爾は船を焼らに置きそれに進み 「城艦敷これへお出であれ」 「城艦敷これへお出であれ」

す。大島流の槍術を聊か挙び

一御奇特な事だな。

はに病腸胃だ實質やい?噌

い。黄橋さその腕を比べる為であい。黄橋さその腕を比べる為ではない。中田熊和が繋つたは常の門人に槍術を教へる為ではない。黄橋さその腕を比べる為であり、一方線へあ。今日熊和が繋つたは常の門人に槍術を教へる為では

「御所望に依つて御棍手仕る。寄る。時に正雲が、

更に感ぜね。その時丸様が、 忠豫には ヤッと報合を懸けたが、忠豫には ヤッと報合を懸けたが、忠豫には





燈火親しむ

8

机上に

0

電話8401番

は なって は かんな 七丹 歯磨でよく 贈から

CHANNE

(縮圖)

業



不純物を含まぬ 蒸溜水にて醸造せる オツカは衛生的好飲料 立即の誇りなりと信ず では等断じて遜色なく 實に我國族 では等断じて遜色なく 實に我國族 では、風味、幹

家庭的 タカラウオッカは特別の 文一、八〇〇 & 壜(約一升)にて僅か 本等に便利なり を等に便利なり を等に便利なり





八演習

【北平特電二十日製】南京より

しはそんなもの持

新軍縮案の基本原則を提示し監えで指導條監度で追還を監りな見送りな受けて二十日全員時間の日枝丸に乗送がなりな見送りな受けて二十日午後緊時五十二分東京監影があった。次いで午後三時横濱解纜の日枝丸に乗船米避べ配び、次いで午後三時横濱解纜の日枝丸に乗船米避べ配び、次いで午後三時横濱解纜の日枝丸に乗船米避ぐ配に松平大使と充分打合せ後二十五日頃先定で配に松平大使と充分打合せ後二十五日頃先定で配に松平大使と充分打合せ後二十五日頃先でで配に松平大使と充分打合せ後二十五日頃先でで配とないで米國と東端が開める。

十五分東京縣登州東で大使館東で の他の見送りか受け夫人同性主学 の他の見送りか受け夫人同性主学 が出かった、同大使は語る 約半ケ月の鎌定で北平の大使館 員に嫁いてゐる嬢に會の旁々見 物に行つて來ます、リ

電業公司

監督

自規定

で で ない かん で かっと ない かん で は へて る いっと で かん で 掛って 来 たら 引ッ外 さう

お子様のために

舟至由良港·秋日偶成 九 月 十 日

III

田稜

かかるの目は、目の前にゐる猛

育 ゲォルガの船唄

年 その前に突ッ立つて、見下すや うにしながら大河底が呼んだ。

行兒 國兒 進 史

曲出口繩飛用行進曲管 粒 樂 園 置子 供 の マーナ 日本ピクター 劇 天 慶 雪 劇 東京子供音樂會

若しも男であったなら

雅 野頭重筋兵第四鄰編悉曲 跋 夏 堂 々

軍甲山學校

「強情張るのも

の勅令を公布

は既

9

れる関係がは日前經濟が制の具體的事項を調査研究する事が主題で設ち

北支の對日感情

齋藤大使の視察印

市内各方面な歴訪留守甲の挨拶な禁葉起中対繁治の興氏に十九日常業治の興氏に十九日

一蛇角

滿電兩氏外遊

▲下勝一行四十二名 同上 督以下一行十七名 同上來連 督以下一行十七名 同上來連

廿一日出帆

在留外人徵稅

監督の党を駆ぐる方針である に日滿層画において組織する監督 郷の会間に就いて会談した後更に を見會において監督の誠に當る容 郷の会間に就いて会談した後更に を見會において監督の誠に當る容 郷の会間に就いて会談した後更に とは、右委員會は法規により 午前十一時山崎理事を会見正午齢 であるが、右委員會は法規により 午前十一時山崎理事を会見正午齢 には日滿層画において組織する監督 郷本社に様本お計謀長を訪問、滿

延期申出

渡支の米大使

確外人地方被微軟を延期されたい は容認し難いさいひ、又楽大使は は容認し難いさいひ、又楽大使は では、下では微軟を動きれたい

とた駐米齋藤大使は小憩の後光で 十日午前六時着の直通列車で來奉 の主通列車で來奉

いて來てゐるやうだ、

日發國通】東京駐在公 きのム東京發

何處でも日本語で押し通す

ふ鹿島立つ

山本少將語る

北支政策を

の批判を待

政府の態度が斯く

上會談の成否は再開後旬日

ある(寫眞は山本少將)

VA

(刊日)

大衆衞生目ざ

奥地十箇所

に病院

赤字覺悟で施療ご實費診療

工務長)同上

厨信市氏(關東圖外事際長)

帝政記念に

代表けふ鹿島立

來月下旬豫備會商開始

大衆暗衛生診療施設を登標さら病に病院を整設することに決定したに病院を整設することに決定したに無職事業として奥地十ケ所のと

してゐたが今回滿洲國常

をは二十或は四十な施設し清蝉泉 は ・ は悪いは、一 などのようち本年度地と ・ など、といいのうち本年度地と ・ など、といいのうち本年度地と ・ など、といいのうち本年度地と ・ など、といいのうち本年度地と ・ など、といいのうち本年度地と ・ など、といいのうち本年度地と

作の上で 安東城内、赤峰、林 中に建設する都市は 大黒河

本高野山大松高鮮財間傳道圏和田 | 「京野竹は、 ゴー | 「京野山大松高鮮財間傳道圏和田 | 「京野竹は、 ゴー | 日本 | 「京野山大松高鮮財間傳道圏和田 | 「京野竹は、 ゴー | 日本 | 「京野山大松高洋野山大松高 | 「京野山大松田 | 「京野山大田 | 「「京野山大田 | 「京野山大田 | 「京野山大田 | 「京野山大田 | 「京野山大田 | 「京野山大田 | 「京野山大田 | 「「京野山大田 | 「京野山大田 | 「京野山大田 | 「京野山大田 | 「「京野山大田 | 「「「京野山大田 | 「「京野山大田 | 「「「「田 | 「「「田 | 「「田 | 「「田 | 「「田 | 「「田 | 「「田 | 「田 | 「「田 | 「田 | 「「田 | 「「田 | 「田 |

かかかは大神原から目を焼きすがあんなにもつっこく附き纏つて物あんなにもつっこく附き纏つてあれたのな、ちゃ、まるで知らなか

夕庭ラのン

千草 開屋 數子

妹脊山婦女庭訓

に着手して居り職門のほか通速、 のものは既に追加線算を以て工事

一一ケ所 である、水中度

動の鐵案を提げて

行發日十二月九

京 永 鈴 人行發 治代喜本稿 人類編 盛武 村 本 人制印 地番一冊町園公東市連大 紅報日洲番 社會式株所行登

變を總動具、一九三五年夏を期し國通』米國海軍當局は軍艦百數十

管である を戻撃し得るやう、無 を受し、 を受し、 を受し、 を受し、 を受し、 を受し、 をでした。 をでした。 をでした。 でした。 でした。 でした。 でいた。 でいた。

滿洲國の

大連署巡查四百名

對策は言へない

信太郎氏は廣田外根の命を受け十 整門家である前ギリシャ 公使川島 東京二十日登國通 通機問題の 產業調查 川島公使來滿

臺灣に歸省

一族廿二名を引具して

旬約三週間の豫定を以て滿洲

衆してゐた大連署員(部長及び巡査長以下幹部の辭表提出で輸落な

けふ辭表提 全面的に

係蝶名林巡査を座長に推し、座長

機械が布かれんさしてある、これないではなの主義主張さ異れる政治に我々の主義主張さ異れる政治になくが軽貧を忘れて支持して來

一致を見、大倉席上直に三百八十

蔵問題で交しる常京中

を満場に踏つたさころ「幹部に強 如何と教をの執るべき態度

師任途上の 大場警務局長談 いた、氏は語る 音々の主張が容れられず今日の 音々の主張が容れられず今日の 音は個分類かにしてくれてゐるか は個分類かにしてくれてゐるか は随分類かにしてくれてゐるか は随分類がでれるない。整理問題 帆の扶桑丸で神戸黄崎低の途につ場願東鵬諸務局長は二十日正午出

兩新機構 政務官會議結論に達せず

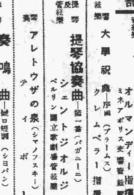
運動方法、即ち閣議が定 関東職並に署内幹部のたが、結局 、時に非ず

を無能及び上京委員派通に関する 一時三十分散會、なほ蝶名様座長の手能で取纏められたを響気の静 の手能で取纏められたを響気の静 の手能で取纏められたを響気の静 動の強化を織り、近くを満歩倉大き物が強化を織り、近くを満歩音大

とから今睡ぐさきでなく、ゆつ・よ」 とから今睡ぐさきでなく、ゆつ・よ」 さむべきだ、旅順に歸つてごう 「…… するか、それは今いふこさは出「俺の 水ないが私には自分の考へもあ」が、 深刻豫想 お前だ、お前の修だ」「大概成はくも分つたらう?」「大概成はくも分つたらう?」

「唇所な突き留めるのに暇を取られて、跳跳にぬると分つた時には お前には三枝の娘が附き纏つてる た。引ッ欄ふには、三枝を眺らせ なければ、娘の口からすぐ洩れる では知れたここだ。こ云つて、人 のは知れたここだ。こ云つて、人 別がへ腰された」

人		tait		
77	unn	unnn	iiiiiii	um
				loc .
1	疾提	At =1.18	管安	部
	奏零	管及提 经 空	被樂響	DP
1		· **	*	粒
ł	アレ	提	1	*
	ŀ	3	學	1
9	_ ウ	肠	积	
1	ブザ	ジェ曲	力與	17
1	n	1 2	レ序	オルコ
	ィ泉	立トる	40	*7
	?	五 4	ナ	リンノ





米國海軍長官發表

ぶものであるので、目下のさ「官より大概を決定したのみで続六、施期日については何分業業を「管室結ちり、減田氏その他の球粉・ するのが安當であるこ者へて 中度初め即ち四月一日より實施 制を樞密院へ御諮詢な奏請し來 院へ送附され貴族院の空氣も大議會に提出し、衆議院より貴族

り、且つ軍雷局の急速質施の記録 の意見が開陳され結局何峰の結論と自しても見触すべきでないか等 比較的質能の容易なるものからは可成り強硬なるものがあるか 今騒が

は議論百出し を変数分低

動方法でして州内外の各警察署以で患痛な場合せたなし、これが運 議會の論戦

獨洋 奏等

パリー 室 祭院 合 美編プランデンブルク協奏曲―第3番(パッパ 興 曲ー鍵ィ長調(シューバート)

二重唱 中間音 菱 夢遊病の女・歌劇ペリーニング・マットの女・歌劇ペリーニング Ø ウ (シューバート) パテ

在滿機構問題

子の帰廃を振り締めてゐた。据わつた。彼女の献手は、安樂椅 見聞いた彼女の目は、恐怖に躍かかかるは思ばず目を見聞いた。

交響管 紋属

四载 官及洋 東 粒 業第 榮 零 ハーリ・ヤーノス(コメリー) 「ラズモフスキーゴ(ベートーヴェン) 女 架 四 重 奏 職 一 (スリートーヴェン) 洋琴協奏曲一二四月八七

近 四市家文

孝子迷の印籠 吉田奈

浪花節 浪花節

山勝太

職の恐日患者よ脈を顕されやう。沿道の日浦人眼を瞠つて歡迎、蘇

米國經由歐洲の近標を視察と明智

うすりい鬼で離連、郷里に立寄り交した、邴氏は來る二十一日出訳

一十一月出版

海軍機、

鑑賞な聯れて新京へ。

0

電計機査 會計機査 含計検査に、馬渡島は 二十日午優四時四十分着連、二十四日まで開東週、二十五日より月

猫ばゞなンてのもある。

その蘇聯側の越境領々、火事ド

ならの事態ドロ、中には三角洲

前十一時三十分大連港外着鎌足

憎し懐しき相手よ、頭かにやツつ

アメリカの巨人群來る、憎さ

歌行流の秋るた爽颯 可では、からないからす 愛

あこがれの空

、汪兩氏は確認 歸任せる黄郛氏語る

あっていはせた明晰な教理家とも

もあつさりしてゐる、

一度試みにかけて居並ぶ紅毛人なーでという。 レレンットの構造を製日間研究し

べきぢやないし最後の肚は決

本せる黄郛氏は十九日午後一時半 南壁。の色し見せず元氣よく語る 去る四月北平か離れてより既に 五ケ月有録を經過した、この間 南昌に赴くこと二回、寿介石氏 意見並に北支における特殊性に ついてよく理解してくれた、少 近く関係各方面参集の上會談をある、戦闘問題は早急に解決するここは困難な事情があるが、るここは困難な事情があるが、

二十日午前七時二十分新京より
▲尹鎭建氏(蝶護士)同上平壤へ
本尹鎭建氏(蝶護士)同上平壤へ ▲堀省一郎以(満洲化學工業重役)ヤマトホテルへ投宿 日午前七時看列車にて來連中氏(大蔵省文書課長) 事 けろツ。 機の旅、原理くして船に平替ふっ大場警務局長の足も空なる飛行

階属する管理として大津より海路

廣瀨大藏省課長

氏は二十

ドと以て目的の賞徹を期すことは出来ない、よって巡査階級が第一線に立つて幹部をリー

やるものでなく心細いこさだ。が、初めから整理するさいうてにつき身分を保障するさいうて

をこい現地の鼻息に、吹き飛ば をごい現地の鼻息に、吹き飛ば 山峡に蜻蛉派打つや風強し。

之 冉 名 春父 四秋 官及 意 意 報 卷 樂學 秦弟 荣

二十日餐園通』定例政務官、上通数の開議で決定し、際上通数の開議で決定し、際上通数の開議で決定し、際上通数の開議で決定し、で、企業が開業を対していたが、企業法法

(ショズン)

東京二十日数國通』在滿機構成 東殿の情態は收まらず、又陸軍省 東殿の情態は收まらず、又陸軍省 は集備金支出で年度内質施を要求 してゐるが、大蔵省は立窓中の官 してゐるが、大蔵省は立窓中の官 を要求 して記述を要求

「あの電報を見れば、実施で俺は か、前よりや二倍も惨いい、伸を か、前よりや二倍も惨いい、伸を がと前を追ひ出すごころ

唱音

子

中

ツ ス タ (モーッアルト)

新燃配行の縦枷まで、見え際れに手が三枝なら、仕事が仕場い…… つたる締めたさ思ったればはる様 能が附いて行つたのを知らないだ 「そのうちに、急戦直下、三枝の

放今後の政策総行上感で砂粒を来 を有し、間田首様は優柔不続なり を有し、間田首様は優柔不続なり で関数を抱き、者し続れの硼酸策

すざなし議會では相當深刻化の模













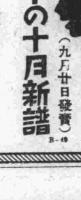
田寧太郎

島政二

(124)

子(太食調) 宮內省樂部





周水子

に勢揃ひし

海軍機

機密文書を盗み

コンですよ、一同し満 く二十日入港のばいかる鬼で奢速 二十一日午後七時年より協和會館のトラックを具今見せ 米黙抗隊上競技大會に出場する米 に出場する際回避手を競送し帰せのアナンセルスのオリ する日本代表選手一行は別線の如 國選手を競送し帰せるアンセルスのオリ する日本代表選手一行は別線の如 國選手を競送し帰せるアンセルスのオリ する日本代表選手一行は別線の如 國選手を競送し帰せることである。 に出場する米 に出場する米 に出場する形画選手を競送し帰せる。 一般のスポーツ・シーズンを飾る日 したが本社ではこの際史的競技會に設けれている。

44

長、山崎同理事及び林田主事この日埠頭には山西滿洲體育

日

舟同越吳

つたが一行の指揮官家院大佐は十二時再び空の人となり國都に向

語なる

スを突破

向ひ風の為可成り避コースであ 向ひ風の為可成り避コースであ をで来ることが出来なかつたが がで来ることが出来なかったが がで来ることが出来なかったが がも一米から十米のエア

然風劈

できうな寒さだ、その中で、出動準備の空の勇士たちは凜々しい飛行服に身を固めで十米、熱風に懸せられ、あたりの芝生はよれ~~に砕け、チッさしてゐるこ手もの我が大海軍機の構鍛が曉の旭光を冷び、その観繁は燃々に勝り映えてゐる、氣温の周水子原頭は物遊い熱風だ、黎明かついて大連飛行場にはけふ滿洲國首都訪問の 周水子原頭の の訪問

たる氣魄を張ら すらり空の勇

に現した

能験の艦上機は午前十時五分先頭 能験の艦上機は午前十時五分先頭 を表すると変をを天の上空に現 ※から十五米、營口にいたつてが激しく、大連、空は風速十三 急激に氣温が低下し、また風速 出迎へあり一同は直ちに豊食を 電長代理その他日滿官民多數の 電長代理その他日滿官民多數の 飛行場には三毛司令官を初め水

五分·奉天 なく、旭光燦さして輝 へ向け直航することになった の飛翔で終日への廻航は二十三 の飛翔で終日への廻航は二十三 定のコースな變更と大連市上空 定のコースな變更と大連市上空 になった。 新京への到着時間の關係上、襲 れば秋晴れの碧空 緊縮隊形で難コー に着く

H なな

ルの豪華版

の壯観な早す

ので飛ぶやうに変れ身動きも出來

艦隊

舶耒時計

は

(順はかい)

近

乘組員分宿

ツト或はカツターで 纜々 準頭に 「流題の下に講演會を開催すると際が上められるものかさうれる 會では二十一日正午より五階會議上院が止められるものかさうれる 會では二十一日正午より五階會議上院が此められるものかさうれる 會では二十一日正午より五階會議上院が上められるものかさうれる 會では二十一日正午より五階會議職院人港第三日目の二十日は郭本 艦隊入港第三日

日米陸上選手來る 地の高長の参集を求めて協議し極い。 一時脚野市助役を旅間、二十日 自席へたので脚野市助役は高に西大 にので脚野市助役を旅間、二十日 にので脚野市助役は高に西大

波を怨む

官一行は滿州國訪問の第一夜をヤ とで來京せる宋文職合艦隊司令長 午餐を賜る 末次長官一行

1. 投尽大佐

投下メツ

セーヂ

歴に於ける日滿電以合同地艦の 地域に於ける日滿電以合同地艦の 地域に於ける日滿電以合同地艦の 地域では、 では同三時より新京配女職堂に於 で約一時間に取り「時局と海軍」 で数一時間に取り「時局と海軍」

八月廿一

日より二十

日まで

渡

歡迎相撲大會

京神社を参拝し

あす電園下で

島

品品

賣出

本秩父丹前地の色々と夜具地、座布團地、裏絹類

產地直賣

磐 城 町 連

ちるなや

電話六三九二番

◇今秋の絣流行の時代潮流に乘じたる獨特の珍柄種々

相撲さ端紙に常園海軍の二大運動になってあるので大連桁役所、海 で含う食、海軍が食べば本社後 機会が出場し東西取組、三人接 の種者が出場し東西取組、三人接 の種者が出場し東西取組、三人接 の種者が出場し東西取組、三人接 の種者が出場し東西取組、三人接 の種者が出場し東西取組、三人接 ・ り品物によっては安いこの評判では、一個によっては安いこの評判では、、何にもろ市中で資ふよい。 ではらい、何にもろ市中で資ふよい。 はないまのでは安いこの評判では、大学を物によっては安いこの評判で おまけに洋酒等の試飲までさせる 潮を 浴びた眠も無にせる

ないやうな影響、この販電店を経て乗組員の群は樂しい一日の鎌宮、市中へ、市中へ

天氣 喘頭なれごも波高く

歡迎

無税港の大連で

に帰られたが、地脈は些か窓といて行く、けふばかり海底、側は相壁らす艦隊景魚 地頭に集まつた人は野憤をはら とした、指魚の理観も出来すられ とした、指魚の理観も出来すられ して、それでも怨めしさうに歸つ

龍頭行の會

百名募集

本日からデワーの

ライトランチを始めました 是非一度御試食下さい

Ξ

+

五

錢

主催 ジャパン・ツーリスト・ビューローを費 大人一圓六○銭 小人一圓 出發 前七・四五 歸着 後三・五○出發 前七・四五 歸着 後三・五○出發 前七・四五 歸着 後三・五○

全剛山探勝會 ・10名募集 ・10名募集 ・10名募集 ・10名募集

ガス 会 社 向 側大連市常盤橋天満屋ビルト

り社

電話八六〇七番

喫茶

車に激突車をは減楽々々さなり馬 一覧は飲死したが幸のに馬夫は命

和洋菓子ミ喫茶の店一

(美三好野球)

吞氣な御本人

船客失踪事件

種談で、かつて計飲を働いたこ もある札付人物で判明と でもある札付人物で判明と で不審を抱き人を大阪に派して其の後親娘から音信すらないの

北の風 二十一日

各地温度(二十一年) 大連 一八 泰 東 一八 泰 天 一八 泰 天 一八 新 京 一七 一 新 京 一七 **干潮**(午前 八時五〇分 一時四〇分 一時四〇分

抱主は計畫的削借許数だる憤慨、

汽車と馬車衝突

歌三里確全太原出級所述行く衛脚の比較、大量山麓機能機器切りに差か、が成玉山麓機態機器切りに差か、

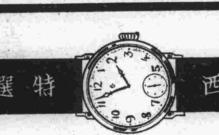
金百圓につき百十一圓四十錢

今日の小洋相場(計一)

の 科動線(元智部) 湖田正明=假名= は果然緊張の色を環はせこれが触述 か織てより自己の地位を利用も自 類一線に変むべくこの敵兵隊の活 が織てより自己の地位を利用も自 類一線に変むべくこの敵兵隊の活 の他の方法によって東方職に強送 類によって事性はいよく 重大化す もつ、ある事質な機知し直にこれ 母に前部池田は九月十八日歌説明 しつ、ある事質な機知し直にこれ 母になり身構は敷安機器に引渡しても大能器にある、 なべき大郷が鬱咳し更に緊部高官 ある さべき大郷が鬱咳し更に緊部高官 ある

興安總署の日系官吏

で密送



茶氣滿々のヤ 朗らかな着連風景 ンキー選手

ここでせう。ごうぞ貧紙を選び
學生選手が生情インタ・ 洲での唯一の大會ですから全力
様へ下さい

陸上草マギー監督、カニンガム主 を構立し緑紫麒に揚れる米國選抜 を構立し緑紫麒に揚れる米國選抜 戦し、各地に於いて世界的疾部繋 戦し、

大會のたとなる スポーツ萬華鏡、驚異の少女 日佛對抗競技大會質況三卷へハン 置屋を脅迫 前借詐欺

大阪のゴロツキ

が切符だけたボー

際、乗船した筈の船客本田九州男郎報、定期船扶業丸が門司出帆の

市内警城町四四線放置屋天狗席に下内警城町四四線放置屋天狗席に たさころ一ケ月はご經てから元子たさころ一ケ月はご經てから元子 鶴さる先づ鑞僧の施術を 雑病者の福音

十 行方不明になった事他については 大阪機能側でも本能側でも無能が 大阪機能側でも本能側でもなが、同盤舎 大事務長より本配完、十七日本田 なるものより「麻無の営寒能取り 止め背下解養甲」こ割知あり順く

豪華なプログラムを揃へ

明夜·協和會館で

滿鐵總裁訪問

先づ

元氣で越へる五十路坂

わた・ふじん

眞綿ふじん·夜 臭地

2×

X

五番

將士歡迎會

整理料十銭な健康 一つたが一般スポー つたが一般スポー のためで、尚

虎離峨紫軒の誤りにつき訂正 の記事中伏見遜晩繁軒さあるは老 いた。二十日夕刊、死に結ぶ棚

天気予報

西

日活館にて・

讀者優待

特選映畫週間

特選映畵週間

讀者優待券(松陽)

社會式核晶食スーソクフドルブ 京東

路旭元山

秋の月でらげる彼る……ノーシンのあだら、氣が晴れる

大日本麥酒株式會社

正午より変夜三回入替なし野清階上八十銭階下六十銭

讀者優待券(松队)

滿洲日報計

さ、揺を合たい水に濡らして、竹筒づほうが引つ懸かつてなる」

野に学かぶ隻殿刀痕の妖mo・ がな左腰の鍵へ、かゝけこ

で、心利いた一人が、かんだう提って、心利いた一人が、かんだう提び人々のなかが、かんだう提び

に盛況が

て小突いたまと、白い師もあらてお載けでないよ」

の時た膳が、何を見つけたか

なる一つ

込められして、これ堂の人柱に塗り 母娘の者は、これ堂の人柱に塗り

するさ共にウエスターンの鍛造県 地がサンスキーが攻撃プーシキンの際低小説を銀帯に再生して揺潰されてある、更にフランス名艦「咆えるがオルガーはロシアの巨陸トウルジャンスキ艦「咆えるが大いが上げロシアの巨陸トウルジャンスキーが攻撃プーシキンの際低小説を銀鞭に再生してフラーなどのなどを

東门

後田療院

2

ね

0

米

五五五五十五 十五卅 经经经经经 经经经

封持

初顔合せの明朗篇

ンガキ

大猛獣争闘映畵

石山稔監督作品

高はしき別烈無比のとかます。 おる雌々しき姿を描き出し且つ又 部隊の第七巻が満洲國の野き礁さ なる雌々しき姿を描き出し且つ又 地方の第七巻が満洲國の野き礁さ なる畑々しきが高州國の野き礁さ なる畑々しきが高州國の野き礁さ

H

報

忘

(231)

家へ、裏から野脚込んだ時は……

永遠の疑問符合し

さ、足能の骸を逃して、郷三郎れがある」 町の下まで辿り着いた夜中。 眼の前には、真つ黒な山が切り である。 げたのを見るさ、鬱花活けのおる川岸の水草の根の間から摘まみ上

は 17大胆、コットへで作の先を 17大胆、コットへで作の先を 17大胆、コットへで作の先を 投げ捨てた――イヤ、投げ捨てや味いた左腰、そのま、草むらへ 竹筒の口に、蠟の固まりがついてうさして、ふて氣がつくて、その **情間の日を、** な、好奇心をそうながはて対してあるの 乃やお藤姉姐まで、甲でつて、節屋をより登り

りを異れて、伊賀の髪れん坊で先一件下左騰、しう濡れ藤の即釘に湯 映画

と演藝。 魅惑

獨佛名畫競映陣 三回興行の日活館に 本紙の割引券を持つて殺到

なり観楽の手に形を振らせトンネなり観楽の手に形を振らせトンネなり、 なり観楽の手に形を振らせトンネなり、 なり観楽の手に形を振らせトンネなり。 なりになって見事なモップシイン ドイツ交通の巨匠ケラーマンの協 歌こと、この佛殿西映画の家町 歌こと、この佛殿西映画の家町 常常不嫌な選しき偉丈夫を配し

廿一日金曜日第三回目の洋画は無説明 十八日より――廿四日まで 前線部隊 第一回 第二回 第三回 午後2。44 午後6。49 晒えろ ヴオルガ 後0。00 同4。00 間8。05 **凶活館** トンネル 同1.19 同5.19 同9.24





ムバア冠業

有は直に遊響率行所に近い護職堂

気に、脈けつけたのだつた。

つたのです。

歌の中には二人の粉はな~

・ すいた郷三郎を先頭に、一行は かあるさは、知らなんだが――」 かあるさは、知らなんだが――」

受につかまり

護懸堂の壁へ

專門

九月廿

4444

呼電話 〇二九三番 七 9月22日 土曜 大連發 24日 月曜 京城視察 25日 火曜 內金剛探勝 26。27日水。水曜外金剛探勝 28日 金職 五龍背溫泉 29日 土曜 大連着

紅葉の絕好期

申込は9月21日迄に下記へ 主 ジャパンツーリストビユーロー 伊勢町電話3715・4713

染色、洗濯、カワウソ、 毛皮ナ 狐、色揚

メシ 領付ケ

麻雀のシーズン訪る 家包俱樂 愉快なる倶樂部へ

五日ヨリ二日間 ~~~~~~~~~~~~

衣屋多博

物大売出



特選獨佛 名映 書画 週間

日活音響版『前 いろ ヴ

獨逸全發聲『卜

佛蘭西映畵「他

本天館の日活直營問題一院落以来 一時平課の販修にあった奉天映書 大映書館を上映してゐた新窟座は奉 大映書を上映してゐた新窟座は奉 大映書を上映してゐた新窟座は奉 日活と握手・奉天銀幕異變

を制立 美 大阪西温江 州南東 一大阪西温江 州南東河 一大阪西温江 州南南 皇 大阪西温江 州南南 皇 大阪西温江 州南 三〇八 支店 木村 ゴム 商 會 大阪西温江 州南 三〇八 大阪西温江 州南 三〇八 大阪西温江 州南 三〇八 大阪西温江 州南 三〇八 發明品新

琵筑 琶前

山川山

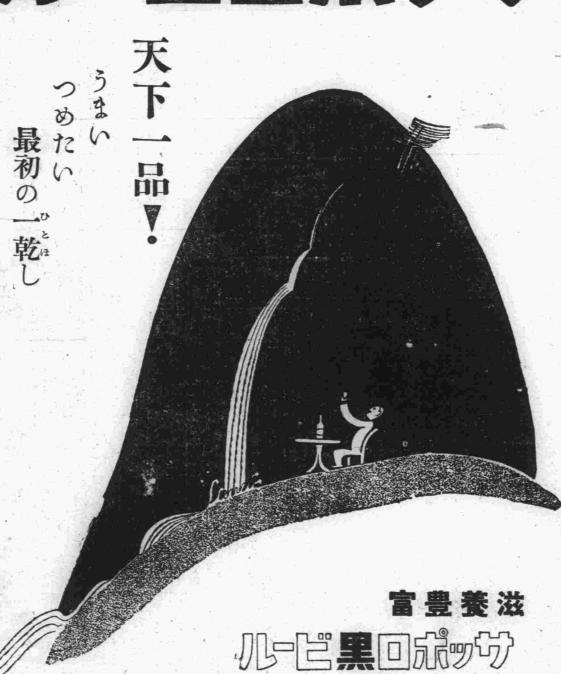
元の

新富座新興と絕緣し

を用ふ詞 察隊の物語? 殉職の警察官

月見、休まさせている音順サット温度を留置に入って温度を開けって温度を開発している。 たった 大四四〇 大四四〇 七〇五三 /占

吹込まる レコ



が の經濟的影響 の經濟的影響 五、行政權返還正分外

る割合を見

おされまの如く取人は真影に於て 一地大・二%金額において七一・九 が他がに真影に於て二二・三% 金額に於て二六・五%金額において七一・九 大が値かに真影に於て二二・三% 金額に於て二六・五%より發症し てないこさは附脈地内居住の満洲 関人が膿枕の默熱さして極めて館 でなったがしなる。 でないことは附脈地内居住の満洲 にないことは附脈地内居住の満洲 にないことは附脈地内居住の満洲 にないことは附脈地内居住の満洲 にないことは附脈地内居住の満洲 にないことは附脈地内居住の満洲

治外法權撤廢と

附屬地返還の影響

五年至30%年

大連商議の意見書画

三十五、六圓程度であるさ
を産費計算は明確でないが大體
を産費計算は明確でないが大體
を産費計算は明確でないが大體
を産費計算は明確でないが大體
を産費計算は明確でないが大體

村の売賃は十八日現在なほー九村の売賃は十八日現在なほー九四○庭に此てれば稍減少を見に が、近來機械類の陸揚多く工事が、近來機械類の陸揚多く工事が、近來機械類の陸揚多く工事の餘日なき今日本貨物の急

○四○随あり、月初の二二、一村の全賃は十八日現在なほ一九日現在なほ一九日現在なほ一九日現在なほ一九日現在なほ一九日現在なほ一九においても現狀程度を持續されにおいても現狀程度を持續されたりにあいては順調に輸送遂行せられ下旬

その間一時的有蓋軍不足を來し、上旬來優勢で

定である

在集職在庫部は百三十九萬九千袋 入衛鞭き三十三萬数に上り在庫部 入衛鞭き三十三萬数に上り在庫部

□ 三六七睡に低下し、混保大豆の如り、した塩貨も甲領末現在では一六一

株開放は土

審議會で決定の模樣

資本五百萬圓

三分の一拂込

大阪態度慎重

が協議な行る単定で、要望品目及 が協議な行る単定で、要望品目及 が協議な行る単定で、要望品目及 をは満洲関税引下要望問題の最後 な高率であるさ非難されてゐる品別、食識所の機鳴する税率中無法

日 世で同時に取扱いては引下製設さ作品を をの復活については引下製設さ作品を をの復活については引下製設さ作品を をので変にした。 をので変にした。 をの後活については引下製設を をので変にした。 をので変に、 とので変に、 とのでで、 とので、 とので | 角砂糖三十割、酒類十四割、氷|||

關稅率是正に 植極的運動

新京商議が開始

新京電話。新京南で金崎町にて

日蘭會商委員會

輸出輸入二部に分つ 日に開催

満電解消は未だ

待遇低下も行はぬ

上海また館調を示し雲市は澎州粉なほ上旬の市場に海外一進一速に なほ上旬の市別は海外一進一速に三十萬袋の入荷を見る割である、

古泉技師長の歸

による痛切なる經濟経濟域行政 による痛切なる經濟経濟域行政 による痛切なる經濟経濟域で行政 の態率に伴うて養生する。前 が原の態率に伴うて養生する。前 でいたらう、新會社へ移管されて ある、淘汰なご絶對に行はれない、不會 かま、引機がれることによって現在の であることはなく、新會社へそのま、引機がれることになっても力である。 であることによって現在のである。 であることによって現在のである。 であることはなく、新會社へそのま、引機がれることによって現在のである。 であることはなく、新會社へそのま、引機がれることによって現在のである。 である。 でいたらう、新會社へ移管されて からの

で連奪社ができるさいふこさは は合理的に改正される答である は合理的に改正される答である 兼崇事業は新奪社の評價には加 へられてゐない、常然分離され るこさ、なるが、合同さ同時に なるさいなるが、合同さ同時に なる。 なるが、合同さ同時に なる。 なるが、合同さ同時に なる。 なるが、合同さ同時に なる。 なるが、合同さ同時に なる。 なるが、 会同さ同時に なる。 なるが、 会同さ同時に なる。 なるが、 会同さ同時に

大阪で創立總會

しい、まさか塊炭をわず、気気

滿洲住友鋼管

三百萬戦を経ず

まない。 ・ 東監して精々二百七十萬度 ・ 東監しが出せよいこは必然のよい。 ・ 東監しが出せよいこは必然のよい。 ・ 東に動して精々二百七十萬度 ・ 大鵬(かにあつたが、この頃は を調し、かは、 を調し、ないでは、 を調し、 ・ 大川のでは、 を調し、 を記して、 をこして、 三百萬順を経ず内地間今年度シーもなほ且つ需要を喊せ切れず、

H.

に入る、滿嫩 商事命では沿 ろ不炭需要期

黄 0 温みが懸しく

株 ける大阪は織新三個株共一個別分安に寄ったが引株共一個別分安に寄ったが引株共一個別分安に寄ったが引株共一個別の新東も百三十個一次流ど本日産も二個全家活株共等安の引高で氣配配が引続いつれる二、三個の活を大きなのなると、一個である。
これったると、一個であると、一個であると、一個であると、一個であると、一個ので中旬であり出近かみせにので中旬であると、一個別のではつた。

「いった」と、「は一個別のでは一個別のでは一個別のではつた。」

「は、一個別のでは、一個のでは、一個別のでは、一個別のでは、一個のでは、一個別のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは 內地寄安引高 地株聢り

寒天黑♥ 現物 現物

当一型00

き

CAL YOU

奥地

相

場

▲小 一十月限 至之 二月限 至之 一月限 至之 一月限 寄付 空空 大 1881引 飛ら繋ぶ製物の鬱威に勢力して居は聡和二年より驚製上の質概を纏を観を 料の直輪人際を市内吉野町に際設 に喜ぶべき事である。 大萬玉洋行を築きたるもので登滿期と愈々共の基礎を確立と今日の 自己の趣味に鑑を登し高風機及様だが一般腕なる氏は昭和七年十一月 職工業界に皆典する處亦多く真然

なり根密の沙臓を生ぜしが、して

るや同業者間の多大なる脅威さ

「寫真は萬玉洋行の

指導な心から翼つて不配の努力 ますが此上共皆様の親切なる御

國民間の販賣獲得に成功も窓に登用的値を踏め燃製品域の擴張に中 や 発液脱呼して此れを逃へ緩々信 三春町に千六百六十餘坪の敷地な 求めて工場の擴張と設備の完成を トするに至っ 今や北熊方郎に泛雅出して居り 現在萬玉工場の生産能力は 滿州地方の風土に適し刺戟性無 し理想的に製出されたるもので 特の花臓器造に成功したのです 事に努力して來たが窓に萬玉猿 良にして低廉なる品を製造す 度が翻場に遭遇 不識が全部舶米品に限られて居 る事に着目幾多の縁性で主燃を 大豆に依り大豆工業な書策せる 磨石鹼は二百萬個 洗濯石鹼は四百萬個 化粧石鹼は三十萬個 、領候に感質せず香料も優良で カシャで輸に最新化學を應用 折柄日常生活に缺く可らざ 作ら断然踏止

弘

一定製作業部で敷養を開き満洲に で製作業部で敷養を開き満洲に で製作業部で敷養を開き満洲に なつたが新食社は資本を五百萬園 なったが新食社は資本を五百萬園

るので、地震工場用能の器経に就 なに触出炭の激増に伴って著る なに輸出炭の激増に伴って著る なに輸出炭の水足を感じてあるた り、炭種別による配給に就いて 水會識において根本計畫を樹立 することとなってゐる ライ変の家 月末まで焼

ソ聯蕎麥買付

うさというでは、 を表して、 をまして、 をして、 をまして、 をもて、 をもて 入札に参加 ウ國發電所 イッが如何に国内の歌號のようなは、大であるかな語るものでんであるかな語るものでんであるかな語るものでんである。

東京二十日数國通 南米のウル ガイ國から今回四千萬弗の(一億) が重じて挑込まれた、職進日本の た通じて挑込まれた、職進日本の で関いの下薬園に難じても一歩の の何れの下薬園に難じても一歩の の何れの下薬園に対しても一歩の の何れの下薬園に対しても一歩の の何れの下薬園に対しても一歩の の何れの下薬園に対しても一歩の 工業技に数

下り本位輸送に

貨車計畫成る

上り貨物は漸く減少

内銀西工製地區も最早約二十萬四利用するより外にないが、附属地

にして製鋼所構内使用不能の場合 であるが、これ等新院会社の工場 をするか、或は構外側ち附原地外の なするか、或は構外側ち附原地外の でもか、或は構外側ち附原地外の でもか、或は構外側ち砂原地外の でもか、或は構外側を でもか。

地盤調外の需要ご特又地元滿洲自地鑑調外の需要に添ふべく、當地略和製鋼・大学に要する需要に添ふべく、當地略和製鋼・大学に要する需要に添ふべく、當地略和製鋼・

日 に於ける新時能工場に難しては標 方針を定めてその旨意述の重役會 選に於て決職したる配であり、か 後に於て決職したる配であり、か 後に於て決職したる配であり、か 後に於て決職したる配であり、か もては上記諸會試の新設能養にも して早く人關係方面では靈感され して早く人関係方面では靈感され

特産交易所を

北滿農民を救ふ

地蜒郷外の需要で將又地元滿洲自『独山電話』旺盛を極めてゐる内

人絹五割、實際は七割縣稅(割、砂糖十五割、綿糸布六割、砂糖十五割、パイナップル十二

貸與せぬ方針

新設計畫工場に打撃か

た関係もあり所要車

動型

をの他一七六、七二三度、計五

で、斯くして同間の

の他一七六、七二三度、計五

で、近くが

の他一七六、七二三度、計五

で、

に、

し、

で、

に、

し、

で、

で あるが、鼓電所はネグ **木米** 大連敷島里六六· 大連敷島里六六· る事さなつた

輸組認可 中旬 出超千二百萬圓

二、二七九軍を要する見込で六二、九四九四一日平均所要

-日養國通」 離印政府で 二十日大藏や麩表記要"馬藤本十六 港の中偏質島成織左の如も(單位 千圓) 本 旬 昨年同句本 旬 昨年同句

琺瑯鐵器工場 十月迄に完成

東京二十

綿織

闌印向を統制

我警察者は が表表され

上旬小麥輸入 濠洲物が優勢

勝高は三十五萬五千袋で、十日現然を濠洲粉が強調を見せ、上旬命 が、連帯が が、連帯が が、連帯の変物出でて近物 が、連帯の変物出でて近物 が、連帯の変物出でで近物 が、連帯の変物出でで近物

米日爲替安で

綿糸弱保合

袋漸落

海外市況は倫敦張塊現物先物共十 六分一高、紐育銀塊八分一高、孟 五、洒煙九六個九五、大洋九六個 五、洒煙九六個九五、大洋九六個 一五〇、酒水百十九個经から二十 一個後、上海標金保合、米日爲替四 分一安を入れ當市参察に六、七十 分一安を入れ當市参察に六、七十 会高と昂騰と三個金乘せてなつた 鈔票昻騰

機到るな行

るや満洲公 時歐洲大

高き間用を機像したるに力を得てなる。までは一般では一般でいる。現時行は活線を呈し一般の検索を表情である。 産豆油は港で石蔵原料さして漂白 優良品製造に成功一度市場に出る 強く起想力大なるを知り窓に最

出來高(銀對金

たが其の問題が記さの観等に数なめ石鹼で業階度に努力して来 まり焼まざる研究が続けて優

獨逸輸入稅免除 物不足 に悩み 市場電報

大阪株式

前場引

nn nn

新豆

八公留比

とであるかを語るもので、 復去の如し ***

「ドイツ球形は全風小婆、 全を終了した、資本金一千萬圓四 ***

「一型製を代施したが、 強込みを受け約四百萬圓を以て敵 **

「一型製を代施したが、 撮込みを受け約四百萬圓を以て敵 **

「本格解添願に終る學定である頭 **

「本格解添願」、 「本格解添服」、 「本格解、 」」、 「本格解、 「本格解、 「本格解、 「本格解、 」」 「本格解、 「本格解、 「本格解、 」」 「本格解、 」 「本格解、 」」 「本格解、 」 「本格解、 」 「本格解、 」」 「本格解、 」 「本格解、 」」 「本格解、 」 「本格解、 」」 「本格解、 」 「本格解、 」」 「本格解、 」」 「本格解、 」」 「本格解、 」」 「本格解、 」」 「本格解、 」」 「本格解、 」 「本格解、 油粉制限も緩和 第二回 元弗第二回 元弗

亮吉、監查役松本願吉、同春日弘總役佐伯正芳、取締役小倉正恒編、同山本信夫、同赤下周川田順、同山本信夫、同赤下東務取締役古田俊之助、常務取 近く設立か 營口取引所

微電では此の機能並六十餘名が何 於て砒%中であつたが、滿洲側線 器立についてはその後日滿機議に 【赞口二十日發國通】 營口取引所 アマ 七五三一十十段 ロン 月月月月月月 初 福 チル 米

三三留比

東京株式

東京期米

印度麻袋 物直積 三留比ペケセ 物面積 三留比ペケセ

況公中田

◆現物前場 (銀建)

度の壁金な場と取り所の質理な歴 大豆軟調 産

◆定期前場(銀建) ◆大 豆(軟調)單位厘 人力 等付 高值 安值 大引 九月末 18780 18730 18750 1850 十月末 18780 18750 1850 1850 十月末 18780 18750 1850 1850 十月末 18780 18780 1850 1850

豆油一二一〇百箱豆粕 六二二千枚

出来

三、八九〇枚三、八九〇枚枚

品

るため外國

充分ならざ ととというならざ 料包製品の 人は絵々増加し加ふる 機到來を待つたさころ射來品の輪

製方面は尚さら微繋にてこと て内地製品の輸入少なく滿洲工 さく船米品の輸入を俟つの外は 見てゐたが當時の滿州は戦後さ

し明治四十一年小規模でも工場なの豊富にて比較的安置なるに着目 設置し傍ら蠟燭製造なも乗れて時 原料牛脂皮及洗濯石鹼原料大豆油 した結果化粧石蔵の主要 穀閥を營み削かに消刑の将來を 父は明治冊九年渡滿して一

大阪綿糸 大阪綿糸 大阪綿糸 大阪綿糸 大阪綿糸 大阪綿糸 1020 1020 十1月 1020 1020 十1月 1020 1020 十1月 1020 1020 1020 1020 1020 1020 限 至 茶川 州石鹼で製料の王座に君臨して国 (報先代版太郎氏病要後は一切の家持つ現松成町の萬玉洋行は今や滿 その般腕を繋び時略和八年五月上玉酸店と醸した一米敷酸を前身に は観時点製香間に好感を迎へ経く玉酸店と醸した一米敷酸を前身に は観時点製香間に好感を迎へ経く 代の越崎を洞察し早くからで戯ぶる時間、 爲め事製の不振に落代するものが なかつたが諸殿の護備不完全なる 覺ましき確進を織けて居るが、同 多かつた。 社創立常時は日露戦後日向ほ漫く

織に見るに止まつてゐた。 震襲外の第一人者にる質像を示し 祝せば廿二賞絵の鑑照は堂々滿洲一日刺を通じて大萬玉の饗展を 御援助に依り幸い大過なく今日全議の皆様の親切なる御指導さ

の在る事は真に感謝に堪へませ

つてな献工業開發に掘進す可く配

氏は深く此か遺憾さなし敢然立

極めて低肥粗悪なる下級品が消費のはる石鹼は舵来品の輸入を使って 業な志してゐた。 が常時滿洲に於 おいて目覧しき活躍ななし今や響います活洲點真機輸入界の一大権 督相續に依り越々多端なる業界に 的になつて居る事は重ねて慶賀に

安高引寄短期 位值值值

日 11200 1120

大阪棉花

萬玉洋行の現狀

は直に常履に誠へたが相次で素徒 長器委員會で國民政府が橋委信は一郎水浸しさなつた那人農民職 は認る 「一切不定した、会見後施公使という。」 では、一郎水浸しさなつた那人農民職 は認る 「一郎水浸しさなったが根次である」 一部かの順合に基立國総省にハル國でとして、会見後施公使という。

邦人耕地を襲ふ

アリゾナ排日暴動化

に遊びりてゐたが交部省な加へて である 「とでは心機に對する國民の認識な深め な難り非常時無策率 は心機に對する國民の認識な深め な難り非常時無策率 を難り非常時期策率

認識を振める管理を振出しに全属

ポグラに領事館

興津副領事近く赴任

該航路一切の網響以中國航空公司に行政委員会の承認を得た、なほ

に用えて、僕は大松な俗家意識を展べて、

識者は、なふ、現代生活の戦争に居て、それを聴め絵への大概な信念意識を展べて、先づ平家末期の過去へ」足跳に成ら

十九日午前二時頃同 の叛人農民は戦々競々たる有様だれてする。これ の襲撃にソールトリヴァ平原一帯 では、 でいる は、 でいる

東洋一を誇る十八人乘機

怖麥借欵の

1 東京十九日黄國通 米人記者なる。 東京 1 連へ日本新聞協會大会が木日午後 大三時東京會館に職能された、名譽 浦曾長、光水理専長以下會就百五 浦曾長、光水理専長以下會就百五 本本本の一個で活動である。 大田本新聞協會大会が木日午後 大田本新聞協會大会が木日午後 大田本新聞協會大会が木日午後

農村匡教の

土木豫算

二割以内承認か

駐米支那公使の否認

聯合全國遊說

四川雲南空路

展展記十日登園通 農村医敷のいた 大概省では之に腹臓を加へ二割に リ 大概省では之に腹臓を加へ二割に リ 大概省では之に腹臓を加へ二割に リ

【東京二十日安国通】十九日の香 外称人民委鼠代理ストモニアコフ に で横張せんここをソウエートに提 てゐる、紛争の寒火觀たる関塩の で横張せんここをソウエートに提 てゐる、紛争の寒火觀たる関塩の で横張せんここをソウエートに提 てゐる、紛争の寒火觀たる関塩の のごころ日本政府よりソ政府に繋 り、その代り岡庭紛争防止のため のごころ日本政府よりソ政府に繋 り、その代り岡庭紛争防止のため のでころ日本政府よりソ政府に繋 り、その代り岡庭紛争防止のため を選 軍伸頭化に宜じく簡潔すべきであ (他)

他は帰せて三十餘代に上る腰艦に が、之は一昨年日本側より提議し たごろであるが疾に懸沙、満國 の越線事

樞府政府懇談會で外相答辞

あるまい

ソ滿國境附近

ソ聯軍隊撤退希望

それを香港紙誤傳か

答。 この問題に就いては外務省で

な事になりはしないない。これが日ソ間の悪化ない

新機軸を割する意氣込を以

高 に回続者加工事は九月末迄には峻 に回続者加工事は九月末迄には峻 に回続者加工事と進めてゐる、なほハ に回続者加工事と進めてゐる、なほハ

干風、延長約三千軒、又市外電

であるが、電信線は工程三十二萬 田下全浦各地において⊪賊の娯響 田下全浦各地において⊪賊の娯響 田下全浦各地において⊪賊の娯響 であるが、電信線は工程三十二萬

アチェソン・オイルダツグ及グレダツグ ※ 國 製・オイルダツグ及グレダツグ 純國産G・T・C 印潤滑油及グリース

國産G・T・C 印オイルダッグ及グレダッグ

ソ聯リ氏長廣舌 聯盟總會に於ける處女演說

・【ジュネーダ十八日 愛属通 無職会において得意の長魔話を搬び進いを 会において得意の長魔話を搬び進い 会における處女演説かなしたが先 の表際話を搬び進い 会における成女演説かなしたが先

度市外電話線

斯界最高標

品

電々會社本年

ツ等の例に飲い会は五十萬獲得

一月から刊行せられる筈 一根一

我社夕刊連載の林不忘氏 を捲き起して宛然左膳時 のとき、現代人と共に今 数ひの手をさしのべる久 であらうか。作者は凡ゆ であらうか。作者は凡ゆ であらうか。作者は凡ゆ であらうか。作者は凡ゆ

答 既に本年は契約費に及ぼす影響如何 るが、果年は割割制の適用を受けるが、果年は割割制の適用を受けるであって先方に於ける質易 るのであって先方に於ける質易けるのであって大方に於ける質易けるであった。日本品を慣別いて あるので手持がないためドシド った程の影響はあるまいさ思ふ に着き保労職をの他の物々しき際より飛行機で午後一時四十分南税

九

の刺寫なる散励の言葉熱誠闘致じます。今日迄各方面闘致じます。今日迄各方面の要望を買うて帝國のどで、之からロンドンに赴

年九-和昭

た第へられながら今日まで作 **興郛氏北平着**

山本少將決意を語る

その品格で學識者情の點にお使さなった秀才にけあって、 今から十年前段祺瑞氏



の興望を擔うて

ら掘つた墓穴にもがいてゐる

軍事教練も

れられたよのだ。

兼備の

八格ご學識

(刊日)

维雷一个三町國公東市澳大 社 報 日 洲 滿 新枝 所行費

三七〇四・二〇〇四 局間編 代 八四三六・七六七四 局業督 代表 一九四四・五九六三 都告資 / 電 九四〇四・八四〇四 所刷印 / 話

五ノ六西座釈區權京 道 新 田 維 區 北 地番五月丁一町旅遊 雅 番 七 町 吉 住

シトロン

宮内府大臣に納まり、警で妄 さころが星移り最變つ

。四善四安 取頭 近國内旅行趣味所上の機運に乗つりリストビニロー(鮮外館)と日本旅行協会(紫内館)の二つは最本旅行協会(紫内館)の二つは最大旅行協会(紫内館)の二つは最大旅行協会(紫内館)の第一次の大学に活動してあるジャバング ビュローと合同 日本旅行協會

日正式決定か見、廿一日には此の 新一鵬はその名職か日本経存線質 リストビユロー態名で呼びかける リストビユロー態名で呼びかける 地に呼びかけ旅行遊戲の廊上旅行 地に呼びかけ旅行遊戲の廊上旅行 發賣元 大阪 #式澤井商店 内外交易具卸商 強く 大好評の 寄きよう 値の廉い 錆び T ず

の設立な見ることくなり、二十

▲傾立魚氏(前中華青年會長)二十日大連入港天津丸で來連 一一十日大連入港天津丸で來連 一のごころ二十一日入港の大連丸 にて孵任 い▲しかし近頃東京通りのモガの 踏官 全國各地一流の金物、機械店にて販賣 器 q II. 電鐵會社指定 湯淺製 ピクターEII ΕΠ

作者の言葉

東京二十日愛剛通」二十日午前 九時三十分首都官駅に適田輸起さ 一時間に真る用談を遂げ更に織い 一時間に真る用談を遂げ更に織い て際国外相で館具とたが減田輸起さ は右倉見後字佐美難問は來る二十 は右倉見を字佐美難問は來る二十

三日離京歸任

其他特殊潤滑劑、光水國製フエデラル・オイラー防錆塗

*

城、塗料各イルスティ

種ンル

獨逸製スチ

ルコ

便發電

獨逸製ク

ルツ

ブ遠心式油

ふ行をせ合打の《人聖無親》 伯畵花耕村山と(右)氏治英川吉者作 いつの頭からさしたく、僕の心の土壌に「親鸞」といることしてたく、大型の大行者の生涯が、鬼味そのものであり、湯宝そのものであつた。そして、過去十原年の情にして多感を慌な本態の中に埋しれて、過去十原年の情にして多感を慌な本態の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機しつ、、全様の中に埋しれて、過去十原年の暗画を事機してある。かりそめな言語を表してある。かりそめな言語を表してある。かりそめな言語を表してある。かりそめな言語を表してある。かりそめな言語を表してある。かりそめな言語を表してある。かりをある。 が、 摩艇の執動にか、らうさしてぬる。かりそめな言葉でいっぱ、かうした暗然で保険がペンを続へ下ろす無葉でいっぱ、かうした暗然で保険がペンを続へ下ろす無葉でいっぱ、かうした暗然で保険がペンを続へ下ろす無葉でいっぱ、かうした暗然で保険がペンを続へ下ろす無く、 摩艇の執動にか、らうさしてゐる。かりそめな言葉でいっぱ、からした思熱の完成には、文字ごはり襲情さん血な複様しつ、、今本であらうさ歌音してなる。

は、自分の情念と、山川自ら遊有りの極速である。「人性、自分の情念と、山川自ら遊有りの極速である。「人情らか、それは水湿三蔵の臍にも似て、漢々の山と雲をでのかった。 これであらうと酸性してゐる。

カル 東の
敗取りに至ら が機構案が未だ
は

では、ころ窓に愉快至極 ▲ 此の分では、こころ窓に愉快至極 ▲ 此の分では、かって残国の証法さらて人種報等案を叩きつけ残国の証法さらて人種報等案を叩きのけるによって、また、 カルフ井が異本に於ける法遇には、 ごいふ人物を無深興奮に振動する になり▲前ギリシャ駐翻公使な がいかり▲前ギリシャ駐翻公使な がいる。これまでの消滅や探移 の闘騒はあるかも 題を自分の一手撃 が流洲の經濟問

滿洲代理店 伊東洋行大連市龍田町八三 製油工場 • 秋田縣由利郡平澤町 (弊社員常駐)

田中

源太郎商

大阪市北區樋上

思ふにこの個外語の常用な非 "承認』に執着無用

中等校長 も離満出来るのが嬉しいれ輝からい將來な躁想して自分 臨時總會

年前八時より新京郷薬学院に於て 全調中等学校校長線等原味郷金か 二十日は 九日午後一時五十五分着列車で來

8.0 · 8 電報が十九日神戸神鵬権 こやし、ホワイトくろうばー、レリカから『緑の無機を繋む』との し切つてゐるので、むらさきうまために次型に切り込められたアメ ゴルフリンク等の窓着は全く風地である。 ボルフリンク等の窓着は全く風地である。 これでは、大きないので、ならさきうまために、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、

機関は酸電するの件 機を卒業生に適切簡易なる指導 機関に養成せんとする参等 教育上日油親著な増進すべ

黄郛氏遂に歸る 歸任する迄の事情ど

他 ぐらせた網裏、銀原日本側で青されば、それに の後に乗るべきものは窓には窓腰 の後に乗るべきものは窓には窓腰 の後に乗るべきものは窓には窓腰 の後に乗るべきものは窓には窓腰 でらせた網裏、銀原日本側で青さ

今後北支の日支關係

は右の如くなかは北東に関する限。

麻袋弱保合



京間の歌郷下海 京間の歌郷下海 は浦州事画後続

ケ年を要して大連蘇家東間を完成 一無後さして完成したものであるが 一ある 一般では明治四十年五月に開始約11 の下派を始め本年の七十キロ分を 清水次長が参列することになつて飛術に明治図一期と二別とに分れれ 次いで大正四年から蘇家屯新京園 開通式には観消部から宇佐美郎長

奉天新京間云吐開通

はやぶさのアジア

複線路上を驀進

月末併合祝賀式

あこさ、なつた、即ち漸級線の複 に著集合のうへを通式を興ける に実定こ、に漸級本線の複線 無道部、諸台梁者、獨立守備隊の あこさ、なり同日回親場において

中田電々 本 一日午後二時から同野気験等で 十日午後二時から同野気験等で 十日午後二時から同野気験等で 十日より安東のみに施った新海湾、工業用地質収、第一期 入職なきものには遮道場 安東縣登貨坊については 地區問題等に関して海豚と終了後 の受付な行はないもので 地區問題等に関して海豚と終了後 の受付な行はないもので

全事院上に賀表禄年の決議を行び 年前九時半一光づ終了同十時半より変内がに集内と皇帝院に購見を賜った。 明宮内府に集内と皇帝に購見を賜った。 【錦州二十日愛國通】朝鮮、湍洲 及び支那な観察総行中の甲學校長 協質代表者行井、潔野氏外五十五 第一次五十五 第一次五十五 第一次五十五 第一次五十五 更に会談を護院した。 中等校長一行 重要商品貿易

大藏省發表

/滿洲は想像以上發展した/

齋藤大使離滿談

|東京二十日数回通||大蔵音数数||加し(單位千国)||加し(單位千国)||輸出人額左の||加し、単位千国)|

られてゐる 山崎延吉氏 物を聽

『まぐさ』飢饉

アメリカのSOS

、大量、注文の急電着

新法安東に施行 | 本語の | 本語

の挨拶があっ

【安東電話】満洲國財政部の織物

織物密輸取締

黄氏午後の活動によって 鈔 票 續 騰

いた結果、政府さして黄乳氏の顔を立て



で年五ヶ月ぶり **軌道に揚がる凱歌** 形式で糊塗されて居ることが多

松田文相の

なきにあらずだ。それを同じく なきにあらずだ。それを同じく

する原因は時代の維修に伴ふ必 が現象なのが少なくない。 川想 の弊はより強き川想と拥育する こさに依つて、流行の弊はそれ。

献

說

力付けた理論の如き、

外來者の罪とのみり離き鮎が

●東公開町郵便所の窓口が、時々 前にする暗讚ピジネスセンター 着も塗らない人は縁ぬてやつて 関にかて東公園の郵便所が今も 前にする船線ビジネスセンター 一回さらて黄田者の明答がなか問題になるやうだが、これまで

がに実して感じられるか如何か日 をに実して感じられるか如何か日 を記述に誇る日本もこの盛つた注 にその数を増しつとれ ● 数されてある。 ● 数が時間中な平均す 数は過大でないかし 変は過大でないかし。 第1に結婚(?)す

京及び通過外

急よ完成

明までにそれ

關東軍新廳舍

州国と活動を終するものは歴史機・新菜の整備を設し、一個の音楽の表情を成し、中い各種より満 外國人來滿數 名の指加を見せてあっ が一五二、英間一本 が一五二、英間一本

大豆保合

奉天都計委員會

リ、次いて山谷氏起五鬼村自力 を及び農民の強の二越目に関し を及び農民の強の二越目に関し が、満洲に於ける邦人農業者の が、満洲に於ける邦人農業者の

第一期地區問題審



大福以外の物の受付

道側に於てそれたが 相響物を跳り

設備審議

建設局委員會

大豆棒物 大 引 大 引

大豆(機物 出来高 五車 出来高 五車 出来高 五車

原溯氏歌迎會 廣瀬大殿

MISHIMAYA 秋 嶄新なそして素晴らしい柄が 三色、愈々スマートな服装のシーズンに入りました 今秋冬の好ましい柄はチ ます・・・是非御高覧の程を・・ 冬 0 脊 廣

既製三ツ揃・ 00,011 生地が店内に山積して御座い 00,011

ラウンそして濃いネズ

艦隊 歡迎

舶表時計は

無税港の大連 7.

近 (順はるい) 森田近江洋行



四五通縣山市連大 築

価値でロンノ(聖路心)日本は薬 一局

大連市西公園町四七番(電四三五四番)

大連共立洋服

予門店で 今回新たに陸海軍服を始めました の服は



司

口には係ばさし

本溪湖防空演習終る

(三)

溪

湖 防

空

演

習

瀬之口會頭は語る

日

敷へら

る不安の數々

れず

幸促

商工會語所を照漏之口藤一

伸びる開發の觸手

明年豫定は千三百粁

資本の安東よりの逃避止の結果最も恐れるの

はないかさ考へられる、安東がないかさ思はれる、安東取引所

たがつて國幣に振替

つた統制の一つだこ考へられるった統制の一つだこ考へられるが影響は王道政治に遡望したい、全回は一安東の問題ではあるが影響は王道政治に遡びてあるが影響は王道政治に遡びまる。

取引所では

不安なし

高橋理事長談

D

關係方面はか

危惧されてゐたが製着の観察は樂觀多く滿洲監練統一上むしろ悅ぶべしさしてへないこ云の得る程の期間しか置かすに實施する事は輕製養殿に新しき打響。態にある、斯る及ぶさころ殿いものた四月下旬に十月一日より座する旨布会 安東』浦洲人の商取引に重要な位置を占めてゐる を使用する等進んだ金融形式を古くより用ひ企業資本の大部分 使用する等進んだ金融形式を古くより用ひ企製資本の大部分し鐵平銀を以て記葉してゐるほ素と鏡平銀であり各銀行はこれを用ひて預金度僧の取引を行び市中の商取引には鐵平銀上場と來る廿八日を最後とするに至つた、安東の主要給出品たる棒鰓糸、大豆、豆油、木川人の商取引に重要な位置を占めてゐる鐵平銀は九月一杯を以て廃止さると專となり取引

多少影響の現れ 舊正前 **倆銀高橋支店長談** 一月頃か



た排ふこさ、なるで 其の少ない受益に比 犠牲な排ひ受益の少

するには先づ地債の問題が肝腎である故に地債を騰げて工場都常ないここであるから維津等まれないここであるから維津等まれないここであるから維津等まれないここであるから維津であることは到底であるいのが、またの間をである。

他さして常なる貨物間は力を籠めて行く

都を護る

撫順の防空演習豫行

を目標に

日都計成る **豕屋移轉料は未決定**

【無書】徐望の擬津市街地計畫は 表されるであらう、今回雑漢高会と、決定したものは多分本年中には發

○萬坪で現在京城の市街地が一米以下であつて此の面積が一

職クラブ、同年の 防空の權威者金 大より搭戦 し同 大より搭戦 し同

| 「一個大学 | 「大田 |

營口でも擧式

は三十、三十一瞬日間較山において開催さることでに決定、警日は大連、泰天、海順外登滅各地よりが十名のエキスパートが來鞍、左の通り談談で観察を行ふさ第一日(三十日午前八時、左

ルな生れ網影響(こと)に一ヶ月位前 北な生れ網影響(こと)に一ヶ月位前 北な生れ網影響(こと)に一ヶ月位前

【鞍山】化學丁深質滿州支部總會

洲支部總會

民に對し發表した、山岡安師の説。の説明をしたる後午後一時一般市

八質を殺し

た匪賊

苦力に化けて潜伏

鞍山署で一網打盡

22(土) 23(日) 24(月)

して来たものであるが、同人の語 る處によれば 今より十年前即ち彼が八歳の時 今より十年前即ち彼が八歳の時 原籍地で家族一同が夕食かすま し軽につかんさする頃突如敷名 の强弦が押入り、家人を脅迫し たので、同人の交も之に抵抗し 拳銃を以て交戦、同人等は世弟 禁はき以てを戦、同人等は世弟 なはされず、爾來今日ま で何の苦痛もなかつたものであるさ

(雨天順延)

は語る

明要旨左の如し

然心流洲國も四五年先には金本が國幣建によって今度は金對たが國幣建によって今度は金對たび國幣建によって今度は金對

て近日甲特別委員會を組織して此 て利用される地域は海ない、高管に諮問した後本府に於 三二二〇萬坪で其の内書原製であつて決定したものでは 人口とした、此の八ケ書の製造したものは継載市街地部 除く八ケ河で卅年後の

容し得る都市とよう

風等市民の保健衛生、經濟關係を自動車道路を鞍線さし防火線、通

ビ製都市の外に比例も一人驚り握け現在の新炭減間依減の二ケ減で

)候船元(四) 就事人盛世院が満洲國警官の総服時頃奉天西塔擦約里七九興盛時舗 の構内匪賊騒ぎ外餘罪多数の見込数と数見されたが、病院事件直後

供せわため約

人質滿人救はる

嬉しさの餘り呆然

された盛はうれしさの館り呆然されてぬる様様である、かくて戦出いてのる様様である、かくて戦出

十五日目に

戦死し十二名の

能者監理班等の各班は迅速に活動。 指院班、下事修理班、教養班、登 指院の戦なく電話を以て各種の

混論に乗じて潜人せる膨脹を鬱備この間滿洲街北山分所附近にては

員の交戦撃退せるあり全市民は

を署り数名が同少年を選案内に同 十八名並びに繁五、九、十の際所 を署り数名が同少年を選案内に同 地へ急行、同地自然燃液十名の援 が、解一時間 が、が一時間 で、高楽畑を二手に分れ接 で、高楽畑を二手に分れ接 で、高楽畑を二手に分れ接

營口市民運動會 當日の餘興決定

各團體趣向をこらす

会験出演は愛日税關の十六名、 会験の十八名、同航空隊の十二名、 会職の十八名、同航空隊の十二名、 を関の十二名、 を関の十二名、 本、選電級の二十一名等 本、選電級の二十一名等 本、選電級の二十一名等 本、選電級の二十一名等 ▲遼陽小學校高等科生六十餘名 古里、城、松岡三訓導に引率さい 和軍艦見學のため二十三日大連

敵機、匪賊

猛襲下

壊して市民を恐怖の極點に至ら 第四、第五彈は太子河緩橋を破 に同様火災を、矢繼ぎ早やなる 第三彈は煤緩公司橋内、敷島町

◆全滿り道大會出場巡問選手強選 會 十八日清報道場で ● 十八日清報道場で

內容見本進呈◆

◆ 護職水安華小學校第十四回體育會 二十一日午前八時半より同校を庭で を被山將棋大會 社員俱樂部主催 にて二十二日午後 五時 よりカ

八幡勝つ、

對奉天實業

英語殿解答集 機調マイ・フレンド 英語學習カード 英習字練習帳

語讀本

毎月一日 国

返す確定である

貧民收容所

奉天に設立か

ABCの讀方か

|5(土) |6(日) |7(月)

束邊道調查隊

計

究

トでも王道樂土にはかういふものだったり見下蛇急戦都市を建設すること 人楽書、これちや止められない。 満洲圏の顧民彩票はます~ 大 属魔地帯に百三十八萬塔の土地な満洲國民政部では山海圏の滿支

て受益者だり

Tal.

八月末には完

主義に撃行された ・ 選集を実所に移るの順序で ・ 選がに乗ります。 ・ 選がに来る。 ・ できる。 業會滿

常日は人無沸騰、満場わき返ることも趣向を凝して観察をアツさ言さも趣向を凝して観察をアツさ言さります。

例な公布させた蔣介森氏は今度ま 無に場片モヒ等に難して極利係

及那峽西省府政が二十萬元、 本海の支那線行際が六十萬元、都合 八十萬元で映西省の各地に農産物 八十萬元で映西省の各地に農産物 はさして総花倉庫を映立すること

大 職物機が依例を出して、それに は二年以上十年以下の整役、賭博 は二年以上十年以下の整役、賭博 場さして貸した家屋は土地ぐるみ 要場でして

講義は懇切明快

學費は低廉無比

食鷄家の

れて頭を仰向に

時間を総くと呼を終し、する時間を総くと呼を終し、するの方法

下海(九月五日館)登行所上海市等受宕町一ノ六共社、領十銭の市等で、北月、東行所東京町の一ノ六共社、領十銭の市東京

クラブ クリップ

新時代o表象は流線型 ¥2.50 以上(意匠登錄出版中

發

賣

楊區銀座西五ノ三共社、 價三十錢 我鄉 (九月號) 養行所東京市京 我鄉 (九月號) 養行所東京市京

起物は交頭、小家具等大狐のもの

一般の十時頃まで、或は午前三時頃から をここです。二十巻まで他の小線 会だつたら十ワット他の電燈で結 ですが、都合により日辺時から はの十時頃まで、或は午前三時頃

一萩の花咲きみだる

痩せる秋

鷄の病氣いろり

H

この問題の密轍を行って

内物質學家研究所で料本館一博士へのませんでした。さころが先版の生までのさころまだそれつて、今日までのさころまだそれつて、今日までのさころまだそれので、今日までのさころが先版 立さしましては 方比較的經濟的なる副食物の就 夕食 できやき

には甘藷の味噌汁 者はどめ一般から秋のたのしい行 事ごして徐潔されてぬますが、大一い走つたり、親たりする。

ものは各種校の運動会で 腕を脚を る鍛 大連各學校の樂し 秋の運動會近づく では各壁校それと、左即でする壁がはな なこさになりました、今年は一般では一般ではなりました。

友愛セール

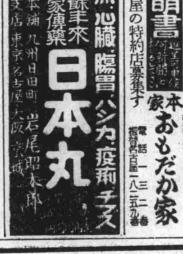
二九〇五七番)敷島町二九稲田民子、藁町三九岩山和子宅まで出、民子、藁町三九岩山和子宅まで出 用品版質量)は既報の通り來る二大連反の會主催の友愛セール(不 配物に出記物目録さその大體の値民子、薫町三九岩山利子宅まで出 質性の一割な手数料さして友の會 段を添へて届けらるれば便宜を計 前希望者は二十二日までに 廿六、七兩日

THE PARTY 美術 テニスコ 秋問題作

年1人興味深い護物である 東中野區大和町四十二共社、 - 五銭) Ske 東京 い の に 有益 「 東京 に 有益 「 東京

> STATE OF **主**









を食べ 要はその配合よろしきを得る事 に差支ない ださいふ成績が出ました。即ち同 高い物崇拜論消飛ぶ

11 (1) をと野菜の素付(目さら鰯の信田)。 「は、砂糖、油湯、干瓢、里芋、大」でも、砂糖、油湯、干瓢、里芋、大」で 夕食 には触さ馬鈴薯の炒 その方法が 著、胡麻油、砂糖、酱油)及び 別干大樓の煮付(切干大樓、油 人低下する場、煮干粉、大豆、醬油)を云 ました。 かったもので、此の價格一人前合 と低下することのないのがわかり しその整要証料、残に最も動意さ れる前化吸収率はそのために著し りませんでし を見きすさ、**南者の間に大差はあ**

れた總然就に換算して其の利用では配着さらほとんご同率です、こ

関に我が職合艦隊、選組員將士の接入連市役所では大震場及び電気遊

大町村月のやつてゐた「學生」さ

課程を了

ことがあつた。問題はエジプトの

二十二日です 浦日婦人團は

結果 ながし、又然水炭素

案(蛋白

艦隊將士の

現在の論壇に飲

接待日

期間中は市内各婦人圏それとして茶菓の総称ないたしてゐまずが

いぶ違ってきてる

な事質である。これを明かにするとない事質がまだまだあらう。既

蜆橋の大人

式許特

ソン商会 に関注意 に関注意

優良國產

瑞穂電氣ドリル

FJ

商

各寸法在庫

瑞穗機械製作所

滿洲總代理店

Þ,

のあるさいふのは、

もかし、人間に自然的な不平等しかし、人間に自然的な不平等

電 22233 電 22044 電 1500 湛速町 常盤橋 沙河口 れなざ、本来、純粹に學術的

がもてたのである。この子供の、常時の実にすためる。しかし、素人の、

に、自然特験の方配のものが一後は満鮮に自由な筆がになるこさだらう。 かになるこさだらう。 か作りその會員を辞で、野逸

になすべき多く 能なつがけて

にしてを 秋の 財外製造(九月十五日號) (6替 財外製造(九月號) 響行所長崎商職、 (1) 一十五錢) 接い (1) 一十五錢) 長崎 樹工 (1) 一十五錢) 長崎 樹工 (1) 一十五錢) (2) 一十五錢) (3) 一十五錢) (4) 一十五錢) (5) 一十五錢) るたが、このほご同氏の來達を選むささして満洲美術家協會主催の下に 美術の秋の座談會を確す事さなつ 年後七時より會費六十銭見賞、な 年後七時より會費六十銭見賞、な 年後七時より會費六十銭見賞、な

は、もつさ出ていゝ。

日本人。第日本特有。紫紫紫紫 奏濃層郡上八幡町

宿商并屬 術領連達大 電話六五六五 推 呼吸器及消化器慢性病

學學遊谷創榮

X線完備

入院隨時

醫廳. 航尖·

的壓及婦人內科

肺門淋巴腺炎及義高不良

い西洋の一般雑誌に

比較すれば、前者は七四六カロリ

日分の内容を

ろ雑誌のごこを開けて

の「人間の不神等」といふ鑑文がでいる~~の極端のあることを述ている~~の極端のあることを述ている~~の極端のあることを述ってものである。徹底な歌りて、もう少し深い戯まで遊んでもらび てゐる片々たる經濟論交なごより

レコードー枚でこの景品が

を ないが、この総文で、このやうに ないが、この総文で、このやうに 本来人間は本平等なものだから、 一の空想にすぎないさい **常**的のもので、自然能な人間の不 平等、さういふものは澤山あるのは総能以外の理由に基いてゐる不平等をなくさうといふのではない ういふ理解はもちろん間違ひであほのめかしてぬるやうである。か のではない

ちうか。西洋

日本の場合、

ティテクレコード 雙補 幾補 水 繁 代 夫 代 夫

店理代溯漢

州州日報(廣告部)電話三六九五番

醫享博士

鍼灸術專門 **鹿兒島鍼灸療院** 陽胃婦淋 接 人 炎膓病病



八院隨時 DO 藤 病 踪 大連市三河町四

ツ産卵な休止して換羽にかいらう 品種の良い難もポッポ の好茶館も養難家に

·教養派に に影響級下しておきますと、凝然ないこの秋冷一家一です。破験ニコチンな此り木

たりますが、早く気かついて とれが出来て徐々に

水ぶくれかつぶして、内部の光を出してあるに間に変ん水溶さした。

その手當・豫防法 り、味をしたり、ひごくなると思してもありますから直ぐわかります。 動、味をしたり、ひごくなると思してもまかここです。 調性はごしては認かをあ たたかにしてやること、来だ部分 にな部種切るまでもありませんが は金部種切るまでもありませんが 地域の窓や入口などガラス月をは 土臓の窓や入口などガラス月をは 土臓の窓や入口などガラス月をは 大脈腫し 大いにしてやること、来だ部分 ・一点のでありますから をい、実がありますがら直ぐわかります。 ・一点の窓や入口などガラス月をは 大脈腫し 大脈腫し 大いにしているまでもありませんが ・一点の窓や入口などガラス月をは 大脈腫し 大いにしているまでから直ぐわかります。 ・一点の窓や入口などガラス月をは 大脈腫し 大いにしているまでもありませんが ・一点の窓や入口などガラス月をは 大いにしているまでもありませんが ・一点の窓や入口などガラス月をは 大いにしているまでから直ぐわかります。 ・一点の窓や入口などガラス月をは 大いにしているまでから直ぐわかります。 ・一点の窓や入口などガラス月をは 大いにしているまでもありませんが ・一点のといると、一点の窓が ・一点の窓が ・一点の窓で入口などガラス月をは ・一点のといると、一点のといる。

一大の は金台するまで別に は金台するまで別に

数ケ月経つと大抵産み渡れが来ま

三人同行

カフエーなどの女給は、カフエーなどの女給は、カフエーなどの女給は、カフエーなどの女給は、カフエ

も心も強くなりと

平山蘆江 つらに更けゆきけ

たさばやさ、他てご 、今夜こそ、思ふさ 、今夜こそ、思ふさ

一人づれあり。 特別の心づけまで 臨に出て旅館屋の 原子な帰りとなっからから まだ早うございます。からから まだ早うございます。からから 質、女のもづかに入つて來て、 外には、ムザンや朝日の話と

では、送り出されし三人そろひでは、送り出されし三人そろひでは、ごうかお無なつけなずつでは、ごうかお無なつけなずつでは、ごうかお無なつけなずっては、送り出された三人そろひでは、送り出された。

タ小中が 年型型イ 用イイア カリアアナ

空氣銃特賣

汗モやニキビ…… 吹出物を治したり 御旅行用に

使はルボースを 楽石鹸の王者 色白く 小型新發音

場を落すだけなら化粧石鹸で澤山♥↓

號九十百

十(2分)

七分

〇九八をノ 十个分) 〇九二わノ 九(9分) 〇九六たノ十三 〇一〇〇る十五(4分)

・九三わノ十二(2分) ・九三わノ十二(2分)

六・三○(大阪より)基礎佛語講六・○○(東京より)ラデオ體操

ラヂオ聴取者の

京城(JOOKK)

=

幸议

春季大手合戰論(十五局) 是初段

五十川正雄坂口常治郎

二十一日

午前の部 六・○○ 東那語潔座「テキスト 六・○○ 東那語潔座「テキスト 大連(以及公人以)

八・〇五(東京より)經濟市況 ハ・〇五(東京より)經濟市況 一〇・〇〇(東京より)經濟市況 五 一〇・四〇(東京より)經濟市況 五 一〇・四〇(東京より)經濟市況

〇(東京より)ラデオ體操

午前の部

ング・スウイ

(新泉より)「満語講座」

公示事項、ニユース(日) 海經市況(日滿語)

信機を有つて居りますが、近気能 等低下の模様がありますので真空。 等低下の模様がありますので真空。

六•〇〇(東京七月)全國二二

●二〇(東京より)講演「最近

〇(東京より)哥澤哥澤芝

(大阪より)義太夫「花(大阪より)義太夫「花





球を遠くへ打つやうな方様

られた という できる は 止むを 得ないが 歌々 本調子 るは 止むを得ないが 歌々 本調子

九年九和

はな者々で麻酔ヤンキーなる語を往れ者々で麻酔ヤンキーなる語を

氏の子巻は些細な飲食物の事に送

いれた事の一、二を最後に述べれた事の一、二を最後に述べ

日米對抗競技會

東京にて見たま、の記

= 月

選手も大に振ったが、米岡の収

▲▲▲ 六同三一 八 六七 玉銀歩桂

帆後四日間に宜る船中の休養さ當

るやうにラケットに直角に、ボールを懸へいウンドしたボールが充分 ロング・ショ

【面局の迄歩五二は圖】

九	八	t	六	Ħ,	P4	耳	=	-
東基	影		雙				翻	
	難進				趣			
	圖		金	幕		量		藩
墓	離		蒙		量	日報		
		蛋		選		黨	選	
类				解	震			
	囊		翼		쮏	4		
	ク	下		(金) 発き		雅		
香車	慧	2.	金 特			-	種馬	重

≜ 二 八 六 手 飛歩

切

棋戰[其五]

社

題間の愛

部

0



口繪數十頁

▽生命の法に隨ふ(美婦 ▽山の家から(友性 代議士令嬢に 一葉から離婚された私 つかまた來る れのドレスを新型に直す ▽初日の銅羅がなるまご 診察簿から一婦人科醫の 五の 大江洪太郎露 0 ▽豊 課セルナール作 世界 (入選六篇) 親に恋惑を古 畵 私の顔田村秋子 おゝるどみす の齋 志垣 佐藤芙美子 四日本の女性と語る 嶋中雄作西日本グループ便り中 生 歴 挿 芸……嶋中生 書 無 墨……干 柴 龜 書 6 第 3 ……千 葉 龜 雄 教 育 化……嶋 中雄作 作 時評 女性 n 詩......佐伯孝夫 を下の空秋 - 単生は進む 単生は進む 英生は進む 定價





















た大間避免に列席した末大職合艦後四時より西公園に於て開催され 行は同夜六時よりヤ

新京の海軍色 本夫、高橋殿山の長官は二十一日 を を標でハルビンに向ふる 佐 本次、藤極麻山会長館は二十一日 登画通』海戦航空基地都際職井少み多代の第二日を過ごさた、なは **調技 世佐 等赴 哈** 二十日 か多代の第二日を過ごさた、なは 海軍・航空基地員 『新京の航池家、引續を料案八千代にお より来京とた。の航池家、引續を料案八千代にお より来京とた。の航池家、引續を料案八千代にお

佐以下五十名は午前七時來京、

日米陸上選手

歡迎の茶會

大道理髮業者 營業禁止反對

野

球優勝戰成績

拳銃で

て應戦

衆寡敵せず殪る

藤吉参事官ら殉職詳報

星ケ浦で盛んに擧行

小川市長敷池の離を述べ、これ

関記者の謝辭あり、一同餘寒の大脚 かんり 一同餘寒の大

大道理験業者の燃業な禁止する事態陽響様響では本年十月一日より

計 268 2 0 8 3 1 27116
(撫 順) 數場計判確認知報數失
515尼 崎400001320
4 吉野正5000010010
8 岡 田 3 2 0 0 1 0 2 4 0 0
1616 民 野4200111421
313安 松5200100920
91四年 里000000000
7 滿多野4010210200
7 清多野4010210200
2 吉 野3000001511

【奉天二十日養國通』既報の如く

業者大會を開く

正天幕を張り國防婦人会では自郷 に天幕を張り國防婦人会では自郷 が、一般を表しては自郷

小學生數干名な

B

軍樂隊を先陳さして午後一時五

院連米回領車及び山西浦州整線會 て地震映画選手四十餘名及び際電 選手の熱型素会は二十日午後四時小川大連市長探徐の日来瞬间健上

職員A組示數無是石井中佐以下三一號關係者級七十餘名朔縣の上 【新京二十日費國通】聯合艦隊乘 是、馬獅、山陽兩艘總理事以

(新京電話) 十九日午前六時四十

街に溢れる感激ご喜び

二機三機能行し

行場に人の山を築い

かくて一旦着陸したわが艦上機は一大人で一旦着陸したわが艦上機は一大人の一旦を表現に一座と

○機を光頭にあざやかに着陸

大時三十分ハルビンに向った東校長轉勤

末次提督の

ステー

ŀ

邊門滿州工廳旅游京都市生れ第一条天電話』十八日午前七時頃大

危く拉

物騒な奉天市

門前約三十米餘に差と掛つた際川克次(この解名は出轍の傷工の一名は出轍の傷工の一名は出轍の傷工の一名は出土を

報じてい、一大郎」で連路

ではいる中、中山 でする中、中山 でする中、中山

全滿庭球士

現れ中山に学就を空

拳銃所持の滿人一名

統八百米職つ

買品を手に 第一門会補燃都市新統領

阿式野球大會

申 場 期 場 所 日

奉天藤浪町コー

九月廿二日

主將會議

九月二十二日午後七時より泰天満日支

主催

滿

洲

日

Ð

品質絕對保證、

返品返金自由

七圓三十錢

番口

河 屋

番七七四三話電

一圓五十錢

Ξ

一チー

ム金五圓ニチー

ムさはレギュラー三組、

特

米斗

瀛

獨平

北

一七八話電

キッネ顔付鞣

名歌意

製力

I'E

九月二十日迄 奉天滿洲日報支社 待望の海軍編隊

恢打揃ひ

新京飛行場に着陸

編除されつて西公園及 飛行場に着陸した、東に源立な悠々一周し同四十分再

て宮廷州墓庭に出御空よりの挨拶に

「新京電話」職合職隊司令長官末次大將は入京に際し左のス

昨夜入京に際して

今回大日本帝國聯 きまして満洲幽皇帝陛下より謁見の榮盛隊が満洲幽創建後始めて大連に人港

多忙な滯京第二日



出した

坂西中將語る

皮軟糖 厚性 下 液 疳 病

院醫中野

東京鮨

一天張

電ニカロカニ

のため滿洲國軍戦死一貧陽六名な

性病

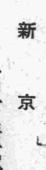
巡捕外三名の爲滌陽聲附近に於て

の意識に関しその後の情報による満洲國際先親で軽けまれば報告の意識に関しその後の情報による活動に対して公司を対していません。 | 大学 | 10 GK14 | 5 CK 6 9 FK 5 | 10 GK14 | 5 CK 6 9 FF K 5 | 10 GK14 | 5 CK 6 9 FF K 5 | 10 GK14 | 5 CK 6 9 FF K 5 | 10 GK14 | 5 CK 6 9 FF K 5 | 10 GK14 | 『奉天體話』二十五日新京で開催 の日滿合同の彩勝民警舎理伽の為 に東方線部協会討会を表示。 でつれず同行の坂西和八郎甲物は に立て二十三日新京に赴くが奉天で は三毛司令官、土肥原特務機関 を含む日満美術展覽會開催の為 で二十三日新京に赴くが奉天で は三毛司令官、土肥原特務機関 を含む日満美術展覽會開催の為 を含む日満美術展覽會開催の為 なった。 は三毛司令官、土肥原特務機関 を表示。 は三毛司令官、土肥原特務機関 を表示。 は三毛司令官、土肥原特務機関 を表示。 は三毛司令官、土肥原特務機関

御

挨

哈爾濱支店、 り名古屋ホテル (新京本店) ごして開業仕候間 館ごして經營中の處今般本社より御讓渡方特 御願し「滿洲屋旅館」ご改稱しヤマトホテル分 昭和三年十一月に至り都合上本社に御買上を り格別の御愛顧御引立に預り候段奉深謝候 滿鐵會社の助成旅館ごして經營仕り皆々樣 弊ホテルは明治四十四年十一月三日創業以來 に御聞濟被下全部其儘申受け愈九月十六日よ 吉林各支店共同様倍舊の 御引立 ょ



右兜行を演じた警備兵八名は虎林 出野前販さ指合せ欧政部、職合局 は「瀬吉参事官は帰岡縣大幸田 市生れ、熊本五高出身、島氏は 瀬島縣相馬郡生れ 拓大 出身で

ある、一寸磁つてるから紹介し 五年生作法研究 五年生作法研究

九

月十六日

の上折角御利用の程伏而奉懇願候

個及び持物を掠奪江岸に逃走一八百個、乗客の現金七千六百

の現金四萬國、聯合局の現金二二名を射殺、男女八名に雖輕陽一二名を射殺、男女八名に雖輕陽

『東京二十日登國通』十九日の郷 遊舎吹良本業費集算會議は日端線 遊舎吹良本業費集算會議は日端線

に快速船

下關釜山間

STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

職業東京〇 B 跳球版は十九日午 下に午前三時これな緊張した、こと、東京十九日養國通』滿州國及縣 盤、日滿東出動も労働隊の應變の と、日滿東京〇 B 跳球 (「秦天雲話」二十日午前茶時頃通

「……立てば敬繁語れば牡丹樹 を受け百合の花、なんて言葉は もうおい、昭和の女性は趣は天 に配は地球の核心に属けさばか に配は地球の核心に属けさばか は左右の足が突立に一線を磨ま は左右の足が突立に一線を磨ま

満洲國敗る

通化縣に匪賊

ルタート陳智のメトカーフ、パーソン、及び跳のマーテー選手 四、砲丸投のダン選手五、ン選手 二、四百米の今井慶二選手 三、走高寫真(上)歡迎茶會(下)一、棒高飛のトムソ

日米兩選手の交驩と練習

大島の三選手のメト

暇はごこかの限でいさかなど

を作って云々

名古屋ホテル本店 支 店

郎氏は二十日附地方部脈動さなり一線水塚市次郎氏が校長事務取扱を提出してゐた新京酬製製校長東一一線水塚市次郎氏が校長事務取扱を

朝鮮革命軍の

總司令を射殺

協和會奉天委員が

(可認物便郵種三第)

わが社の擧に賛同して

にその手観かさ

村上久米太郎殿島

歌

病床の村上氏に

謝の慰問金

の概念の存するところ御酌 も早く御快旅の上邦家の鶯 御邀率あられんここを切に 新上候 敬具 昭和九年九月十七日 安東市民會々長

下さいグルスローガンにも、まる工具十四日京都代見桃山な出鉄して愛國マツチを置りながら愛國行て愛國マツチを置りながら愛國行で養殖マツチを置りながら愛國行時を選げた常波無當氏は十九日午前上時本社新京に延覆し二十日午前十 動一同窓識した を織けてゐる同氏のこの一個は高マ を織けてゐる同氏のこの一個は高マ 勝いて在諸軍隊その他の時間行職。 を出し北流の義人村上久米太郎氏 の行為を稱へ病狀を氣遣ひつゝ立 大力にか一備一銭のマッチを實 地 【新京電話】/愛風心を燃やして

大速車 夫合宿所 あんころ餅(草 **\$ \$ \$**

ひ 四 十

Ξ + (角町野部)町勢伊達大 第二三二七部電

は

0000000

安東市民會

菅波氏寄附 愛國行脚の 義人村上氏へ

彼岸だんご三地の人。富 彼岸中賣出し

十自

の忠願が前に渡な打たせいが、丸橋の数には恋も破

妊娠あんま小兒疳虫鍼 い、あんぶく、マッサー

薬布 闇の専門は

辨天堂

電六六八番 配呂崎

大連市磐城町五八 隋海堂町 吐白精繁定舊貿自念

举长 日 沙州 海南

声 病

済生医

院

下宿

院長鳴尾首

高級順

貸間 事務年用

習字

印書 邦文タイプライターの印書 おいたじます

□製通日本タイプライターの計

六八二四番

東部七八八二

旅

救正山 月 X 光線應用

鳯

本

協 馬 馬 馬

六香地縣為歐陽電車公子香地縣為歐陽電車公

若狹町

車若狭町入る一

圖半

(日曜金)

で門人に館の指南を発すが、それ参れ」

さす。佐分利流の槍衝を師正雪に「挑着車は加藤市邸右衛門を申し

防に絶對權威

女子帝業剤太洋社電ニニニニカ

が明田 整円 上がり電源諸般完化

大連市西通九三

シン電話

福原正義先生創設

発つて風来の良い人物。

好内た司馬で申する者でござい



揃品ツク用寒防 十ノ三中町和昭區吉住市派大

女給 和服 女中 牛乳

安本 選 婚嗣用 日産川 さかひや電丘周三七番 支那みやげ部へ 支那みやげ部へ 電話三一七一番

邦文 タイピス ケイドス タイピス

海產物問產物問產順期 線 貯炭場 構 語三〇六番 出張所

石炭、倉庫業 朝鮮火災海上保険相互會社 原東 天 幡二 旅順商店案內 話高會

畜病院

一円五〇

看護 婦見智入用本

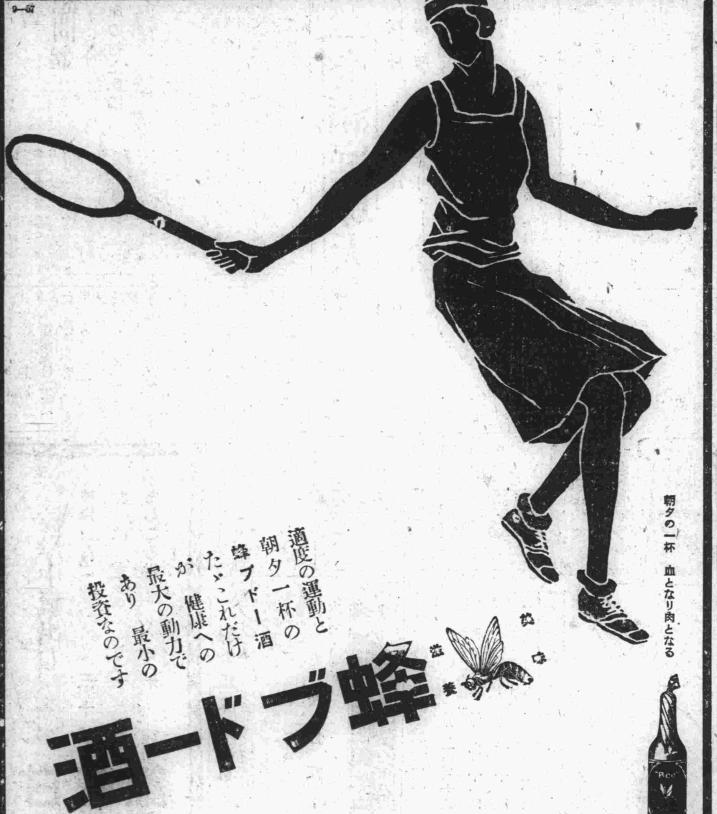
電話六六六三大連案內點債券新聞參錢株式現物店職業復興公債實買並金融

電八三一六

士博學医 一六六七電·八七連西連大 常 · 均 中通車電場広西橋7計構

六四五**商** 五町市場内 **店**

郎六田吉士博学医 長院 (横行洋摩志)二二町挟若帝連大 笛三一八八話電





対略院

業

所

趙街 燈火親しむ

察

電話8401番

御相談に應じますの線楽に関する線での 奥齒まで **智話六五四四番** 大連市兒玉町三 **1** 工丹·魔丽唇 (縮岡)

CPUM MAN





不純物を含まぬ 蒸溜水にて醸造せる オツカは衛生的好飲料 品 質 タカラウオツカは外國産心地等斷じて遜色なく 實に我國襲心地等斷じて遜色なく 實に我國襲 有で時間を要せず 従つて不時の來



衛生的 タカラウオッカは不純物なは生化 を含まの蒸溜水にて醸造せるを以てを含まの蒸溜水にて醸造せるを以てを含まの蒸溜水にて醸造せるを以て



MICH

(37)

忠爾は船を傍らに置きそれに進みて鬼橋殿これへお出てあれ」 道軒 田 雪

一御奇特な事だな。

=

+

月九年九和昭

い。貴橋さその個を比べる為ではな家の門人に槍倒を載へる為ではない。今日鼎為が参つたは常 も先づ最孤は門人を差れば存じなるが、何人 は思へり。たの手の内より水が増えたちり。総まれた棺を降門はそれを総がならり。 九郎右衛門はそれを総がならり。 九郎右衛門はそれを総がならり。 れが右衛門はそれを総がならり。 れがは、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門はそれを総がならり。 総まれた棺を解いた忠衛がならり。 というには、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門は、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門は、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門は、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門は、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門は、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門は、 エイツ、ボーンこ九郎右衛門は、 はいいいが常さ

感でわ。その時鬼様が、 と象合を懸けたが、忠懈には で象合を懸けたが、忠懈には でなったが中肢に はへてエイ

ます。大島流の槍術な聊か學び -圓玉 路 畵 演

はに病腸胃だ質真やい?噂

持参数動 十五被 三行 雇行 回回度回

指

自動 車運輸教習部 日本智開始 若狭町二 部員募集、十二部員募集、十二部

住金 ミシン頭網特参多圏用立 一二八女子商業前波邊電二二三六一 電話

器電具氣

場馬ルトクド 院 醫 江庄場馬 八七五八話電・結構盤常連大